第1回　アドバイザリー会議

■日時　６月２６日（木）１０:００～

■場所　４０１会議室、オンライン

1. アドバイザリー会議及びアドバイザー紹介

アドバイザリー会議について

令和7年度に図書館複合施設の基本方針や具体的な方向性を示す「基本構想」の策定に向けた助言・提言をいただくため、専門家等で構成する「アドバイザリー会議」を設置します。

また、市民の「やってみたい」を形にする実証実験として新たに設置する「日向ラボ・ラボ」での市民との対話や共創、アドバイザリー会議による専門的知見を踏まえながら、基本構想の策定につなげていきます。

役割

「日向市図書館複合施設整備基本構想」や「日向ラボ・ラボ」の企画・運営に対する助言・提言。

桑野 斉 氏

宮崎大学　地域資源創成学部
教授

【専門分野】
自治体政策論
コミュニティ政策論
ストックマネジメント論

中川 敬文 氏

株式会社イツノマ
代表取締役

【専門分野】
まちづくり
キャリア教育

青山 鉄兵 氏

文教大学　人間科学部
准教授

【専門分野】
社会教育
青少年教育

(1)これまでの経緯について

(1)これまでの経緯

令和3年度～

- 「図書館複合施設整備調査研究チーム」の立ち上げ
- 調査研究の実施

令和6年度

- R6.10月　「日向市立図書館複合施設整備庁内検討委員会」設置
- R7.1月　「新しい図書館市民アンケート調査」実施
- R7.1月～2月　「新しい図書館市民ワークショップ」(2回)実施
- R7.1月～2月　団体ヒアリング(4団体)実施
- R7.2月　「日向市図書館複合施設整備基本方針」策定

(2)基本方針について

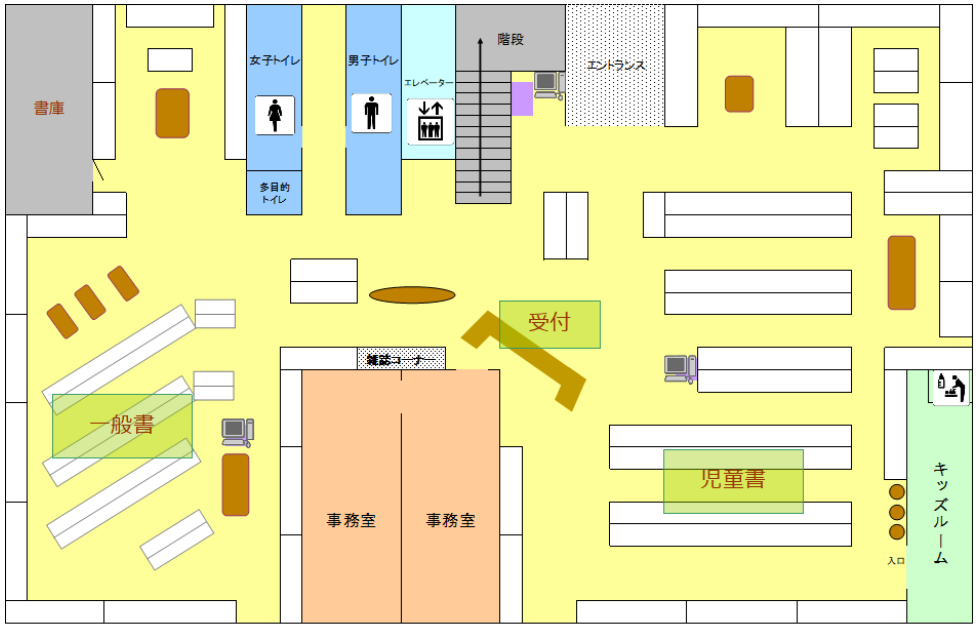
第２章　日向市立図書館の現状と課題

図書館の概要

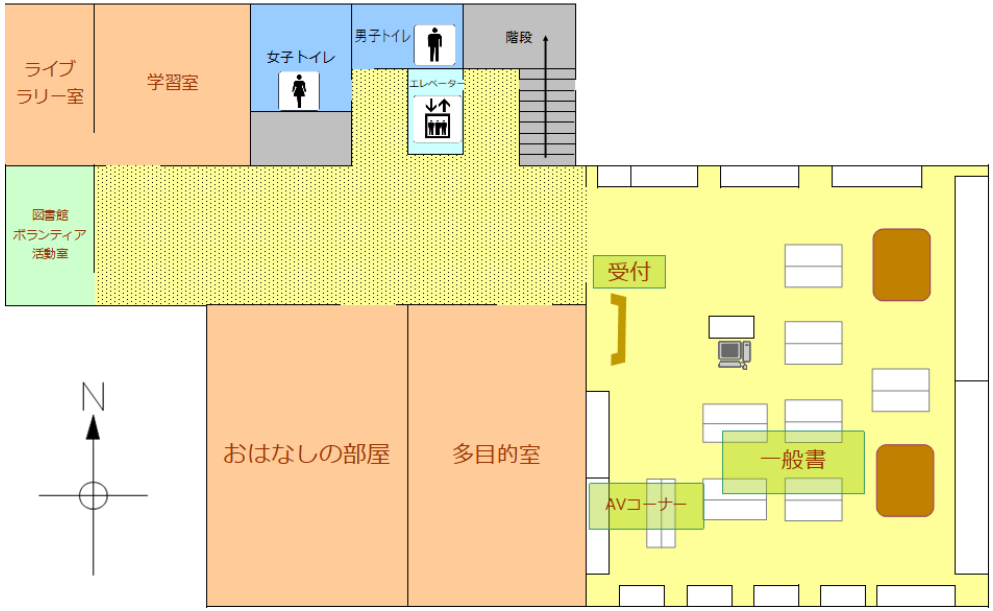
開館年月日		平成9(1997)年1月10日
施設		昭和40(1965)年3月1日建築
所在地		日向市春原町1丁目47番地
敷地面積		3,501.93㎡
本館	建築面積	540.12㎡
	床面積	1階　516.52㎡　2階　392.00㎡ 計　908.52㎡
	構造	鉄筋コンクリート2階建
	事業費	4億200万円(本体事業費　1億7,500万円) ふるさとづくり事業（地域総合整備事業債）
郷土資料庫	延床面積	86.54㎡
	構造	鉄骨プレハブ造平家建
書庫	延床面積	180.50㎡
	構造	鉄骨造鉄板葺2階建
機械庫	延床面積	26.61㎡
延床面積　合計		1202.17㎡
各諸室の概要		一般図書、児童図書、おはなしの部屋 学習室、多目的室、ライブラリー室 事務室、カウンター トイレ、書庫、エレベーターホール 玄関ホール

図書館の概要：館内図

館内案内図　1階



館内案内図　2階



図書館の現状：施設が老朽化、狭小

一般図書コーナー

キッズコーナー

図書館職員　事務室

図書館司書作業室

閉架書庫（別館1階）

おはなしの部屋

郷土資料庫

多目的室

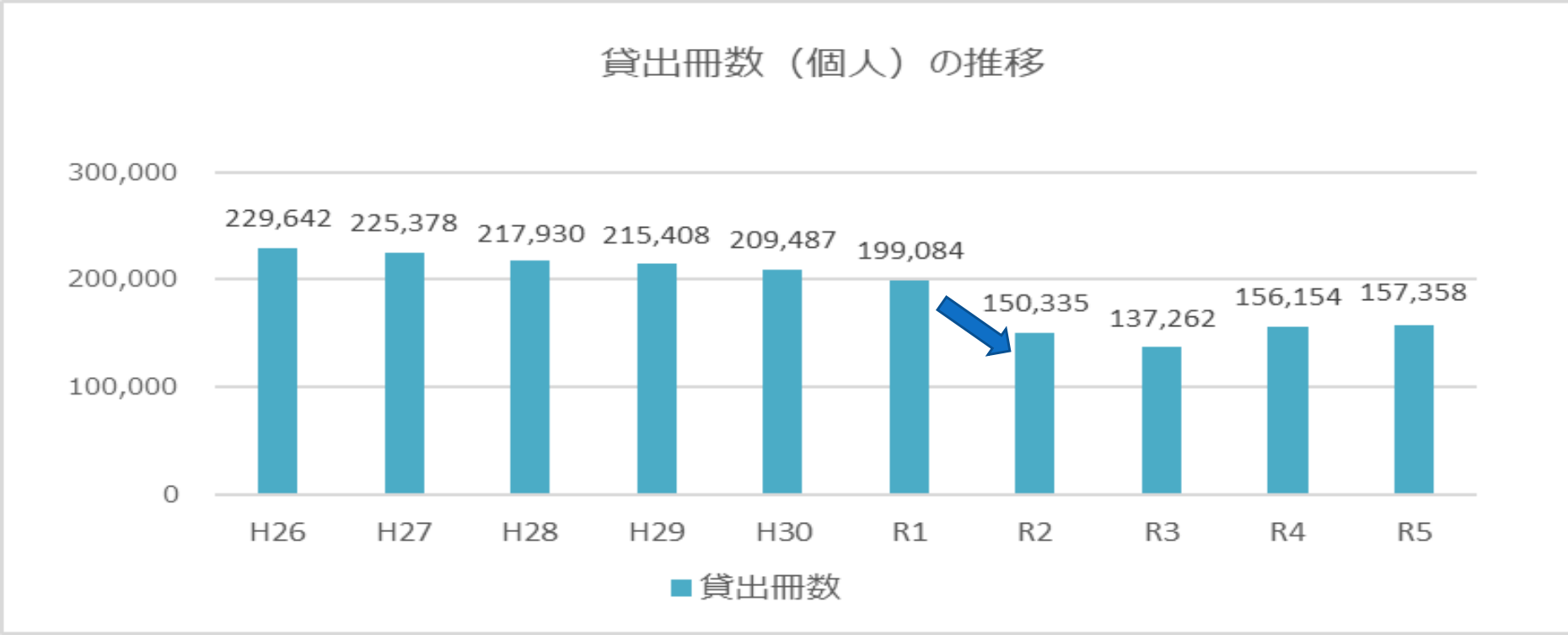
学習室

図書館の現状：入館者（全館）の推移

平成26年度より徐々に減少。新型コロナにより大幅に減少したが、令和４年度より増加。
しかし、コロナ禍以前には戻っていない。

図書館の現状：貸出冊数の推移

平成26年度より徐々に減少、新型コロナにより大幅に減少。
令和4年度より増加したが、コロナ禍以前には戻っていない。



図書館の現状：登録者数

小中学生の登録者の割合は高いものの、16歳～29歳までの若者世代の登録が少ない。
また、50～59歳の働く世代の登録者も少ない。

■登録者数（令和6年9月30日時点）　　（単位：人）

	6歳以下	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	19～21歳	22～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
登録者数	170	336	406	319	172	165	349	912	1,207	824	857	1,181	6,898
うち延岡市	1	1	0	2	0	2	7	14	18	14	12	10	81
うち門川町	1	1	4	5	0	3	5	19	23	19	19	24	123
うちその他	4	4	3	3	6	5	20	46	51	33	36	24	235
うち日向市	164	330	399	309	166	155	317	833	1,115	758	790	1,123	6,459
年齢別人口	2,958	1,531	1,680	1,736	1,688	1,395	3,635	5,288	7,607	7,394	7,998	15,354	58,264
年齢別人口に占める日向市の割合	5.54%	21.55%	23.75%	17.80%	9.83%	11.11%	8.72%	15.75%	14.66%	10.25%	9.88%	7.31%	11.09%

図書館の現状：利用者数

13歳～29歳までの若者世代の利用者（貸出）が少ない。

※学習目的の利用者を含んでいないため、学習目的の来館者は一定程度いるものと考えられる。

■利用者数（令和6年4月１日～9月30日）※「利用者数＝貸出を行った延べ人数」なので、閲覧や学習目的での利用者は含んでいない　（単位：人）

	６歳以下	７～９歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	19～21歳	22～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
令和6年4月	102	170	135	42	11	10	67	256	436	376	522	848	2,975
令和6年5月	108	186	132	42	16	11	76	257	482	382	568	879	3,139
令和6年6月	143	177	144	39	10	21	80	276	551	385	531	901	3,258
令和6年7月	118	217	145	38	15	10	70	288	540	416	542	919	3,318
令和6年8月	138	241	197	62	18	6	69	310	553	382	550	814	3,340
令和6年9月	137	180	149	39	5	12	69	254	563	380	561	848	3,197
小計①	746	1,171	902	262	75	70	431	1,641	3,125	2,321	3,274	5,209	19,227 ②
合計に対する割合（①／②）	3.88%	6.09%	4.69%	1.36%	0.39%	0.36%	2.24%	8.53%	16.25%	12.07%	17.03%	27.09%	100.00%

図書館の現状：類似団体との比較

●人口一人当たり比較
蔵書　　3.07冊（ 9位）
貸出（個人）　2.64冊（15位）
貸出（団体含）3.22冊（12位）
資料費　　234円（11位）

●延床面積
日向市　1,202㎡
平均値　2,219㎡

●蔵書数（開架）
日向市　181,000冊
（116,000冊）
平均値　183,938冊
（130,500冊）

■九州管内（沖縄除く）の類似団体　市立図書館中央館の比較　　※人口7万人未満の自治体のみ　　※「日本の図書館2023参照」令和４年度実績

NO	県	自治体名	図書館名	延床面積（㎡）	人口（人）	蔵書（冊）	蔵書数のうち開架図書（冊）	貸出数（冊）		資料費（千円）	人口1人当たり							
								個人	団体		蔵書（冊/人）	順位	貸出（個人貸出）（冊/人）	順位	貸出（団体貸出含）（冊/人）	順位	資料費（円/人）	順位
1	宮崎県	日向市	日向市立図書館	1,202	58,984	181,000	116,000	156,000	34,000	13,783	3.07	9	2.64	15	3.22	12	234	11
2	福岡県	柳川市	柳川市立図書館	2,873	62,501	270,000	270,000	174,000	17,000	15,907	4.32	3	2.78	13	3.06	14	255	9
3	福岡県	八女市	八女市立図書館	1,277	60,072	105,000	64,000	147,000	7,000	16,411	1.75	17	2.45	17	2.56	17	273	8
4	福岡県	小郡市	小郡市立図書館	1,586	58,385	232,000	114,000	285,000	35,000	12,992	3.97	5	4.88	5	5.48	4	223	12
5	福岡県	福津市	福津市立図書館	2,761	67,956	182,000	98,000	510,000	11,000	42,491	2.68	11	7.50	1	7.67	1	625	2
6	福岡県	朝倉市	朝倉市中央図書館	1,817	50,056	179,000	112,000	190,000	14,000	47,293	3.58	6	3.80	9	4.08	9	945	1
7	佐賀県	伊万里市	伊万里市民図書館	4,375	52,132	393,000	325,000	244,000	93,000	14,996	7.54	1	4.68	6	6.46	3	288	7
8	佐賀県	武雄市	武雄市・歴史資料館	3,320	47,475	250,000	241,000	337,000	14,000	15,002	5.27	2	7.10	2	7.39	2	316	4
9	長崎県	島原市	島原図書館	1,625	42,671	132,000	65,000	148,000	3,000	12,511	3.09	8	3.47	10	3.54	11	293	6
10	熊本県	荒尾市	荒尾市立図書館	3,300	50,048	105,000	92,000	262,000	2,000	6,950	2.10	15	5.23	3	5.27	5	139	15
11	熊本県	宇城市	宇城市立図書館	1,950	56,882	126,000	88,000	278,000	21,000	6,358	2.22	14	4.89	4	5.26	6	112	17
12	熊本県	合志市	合志市西合志図書館	1,713	64,059	205,000	118,000	270,000	39,000	19,004	3.20	7	4.21	8	4.82	7	297	5
13	大分県	日田市	日田市立淡窓図書館	1,534	61,604	142,000	89,000	174,000	9,000	9,059	2.31	13	2.82	12	2.97	16	147	14
14	大分県	佐伯市	佐伯市立図書館	1,885	66,536	169,000	94,000	171,000	33,000	8,363	2.54	12	2.57	16	3.07	13	126	16
15	大分県	宇佐市	宇佐市民図書館	3,563	52,515	216,000	183,000	228,000	18,000	18,982	4.11	4	4.34	7	4.68	8	361	3
16	鹿児島県	出水市	出水市立中央図書館	1,182	51,307	155,000	72,000	159,000	28,000	12,728	3.02	10	3.10	11	3.64	10	248	10
17	鹿児島県	日置市	日置市立中央図書館	750	46,640	82,000	63,000	126,000	16,000	7,737	1.76	16	2.70	14	3.04	15	166	13
平均（※日向市を除く）				2,219	55,677	183,938	130,500	231,438	22,500	16,674	3.30		1.77		4.56		299	

図書館の課題

■ 施設の老朽化　昭和40年建築（**築60年**経過）※旧保健所をリニューアル
■ 施設が狭小　　日向市：**1202.17㎡**　類似団体　約2,219㎡
- 開架スペースが狭い、本を読む場所がない、キッズスペースが狭い
- 展示ができない、学習室がない、イベントスペースがない
- バックスペースが狭い。会議室、作業室、休憩室、更衣室がない。

■ 駐車場が狭い　**約1,700㎡**（約50台）
■ **情報設備に対応できていない**
■ **若者世代（13歳～29歳）の登録者、利用者が少ない**。

◆ゆとりあるスペース、駐車場の確保
（開架スペース、バックスペース、キッズスペース、学習室、読書できる場所）
◆情報設備の充実
◆子ども・若者が集まる場所づくり

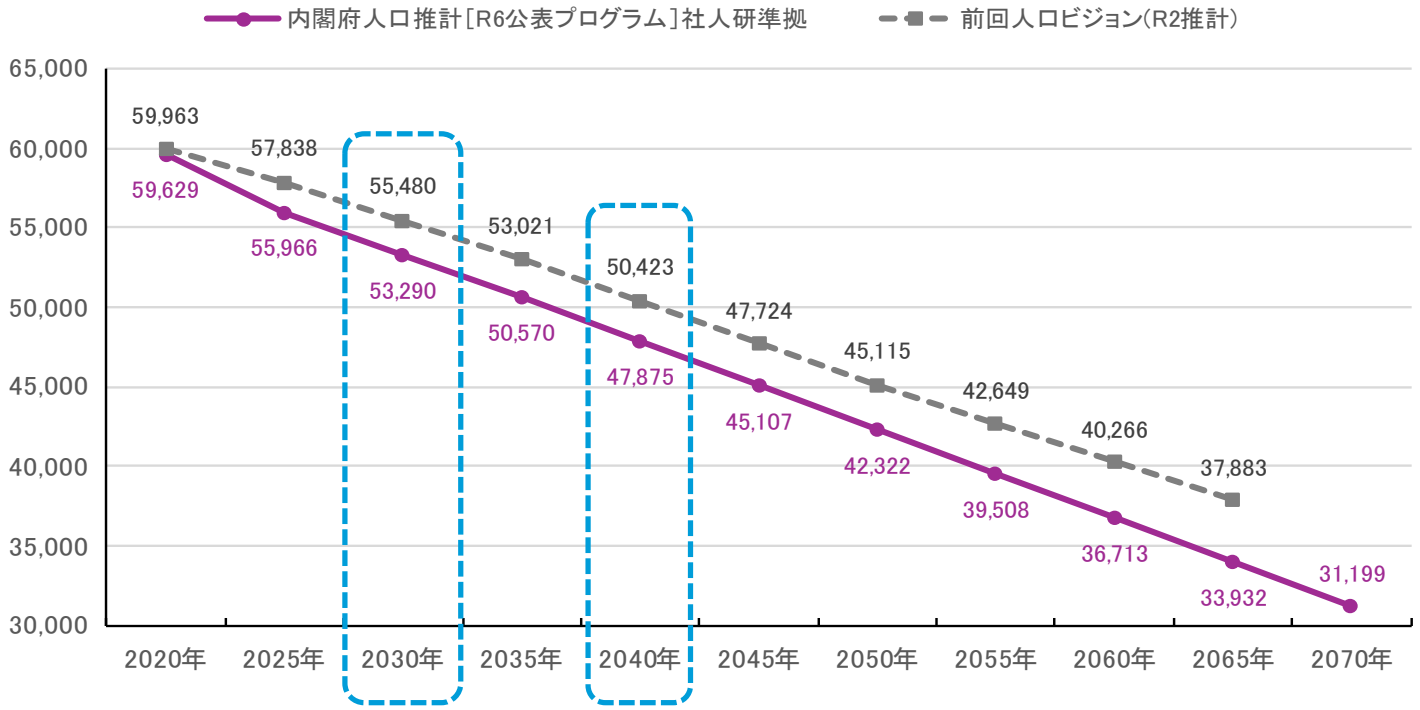
(2)基本方針について

第３章　日向市の概要

将来人口推計

令和2（2020）年度に本市が改訂した人口ビジョンによる推計（以下「R2推計」という）と人口推計のためのワークシート（内閣府）における国立社会保障・人口問題研究所に準拠した推計（以下「社人研準拠推計」という）をグラフにしたものです。

社人研準拠推計では、R2推計よりも人口減少傾向が強く出ており、令和32（2050）年の本市の人口は42,322人となっています。長期的には、人口推計が下振れしていることが分かります。



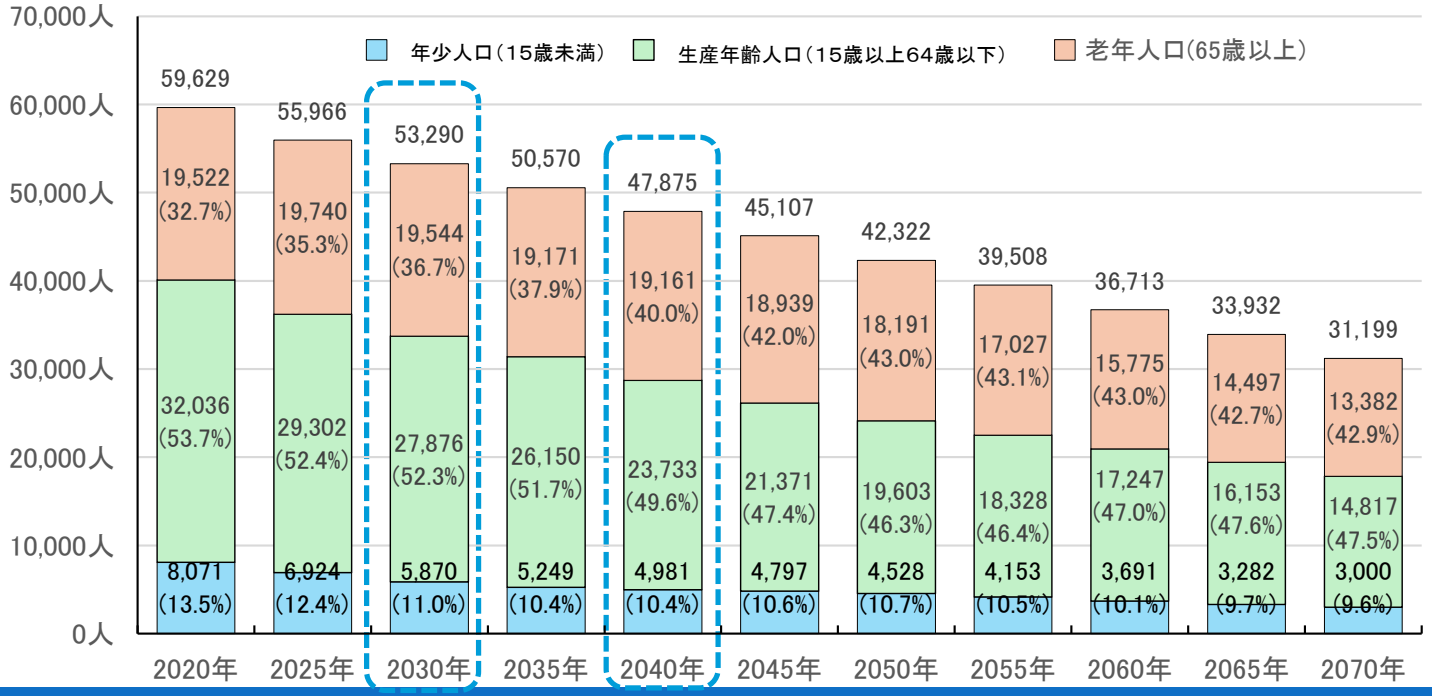
2030年（完成予定）
人口　53,290人

△5,415人

2040年（10年後）
人口　47,875人

年齢3区分別　将来人口推計

- 社人研準拠推計を年齢3区分別に示したものです。
- 令和2（2020）年の65歳以上の人口が全体に占める割合は32.7%となっており、令和32（2050）年には、43.0%と高齢化がさらに進むと予測されています。
- 一方で、15歳から64歳までの生産年齢人口は、令和2（2020）年の53.7%から令和32（2050）年の46.3%に減少すると推計されています。



15歳未満人口　**△3,090人**

2020年　8,071人
2040年　4,981人

65歳以上人口

2030年 36.7%
2040年 40.0%

(2)基本方針について

第４章　関連計画等

上位計画(第3次日向市総合計画・前期基本計画)

基本構想

大切な考え方	①人権尊重　②市民協働・共創　③地域力活用
将来像	人と自然が響き合い、にぎわいあふれる**共創のまち日向**
重点課題	1. 未来につながる人を育てる 2. 若者が魅力を感じる仕事があるまちをつくる 3. 地域資源を生かして新しい人の流れをつくる 4. 安全で安心して暮らせる快適なまちをつくる

具体的な施策

基本計画

分野別施策の6つの基本目標

1. 次代を担う心豊かなこどもを育む、安心して産み育てられるまち

　１－４　生涯学習・青少年健全育成の推進

　③ 図書館サービスの充実

　現在の図書館が老朽化していることから、市民の知の拠点、交流の拠点として複合的な機能を備えた新たな図書館の整備に向けて取り組みます。

重点戦略

※人・モノ・カネ・情報を集中投資

地域ビジョン

こどもが故郷に誇りを持てるまち、未来に希望をつなぐまち

上位計画(都市マスタープラン他　まちづくり計画)

都市マスタープラン

テーマ「豊かな地域資源を活かし、穏やかな人と時に包まれた持続可能なリラックスタウン日向

① 地域別まちづくり構想・中心心市街地地域

・将来目標　　「日向圏域の生活・文化が交流する賑わいのあるまち」

・都市基盤の方針：公共公益施設等

「地域住民のための学習のための機能を充実するため、図書館等の文化施設の充実を図るとともに、放送大学宮崎学習センターの活性化を図ります」

日向市立地適正化計画

日向市駅を中心とする市街地を形成し、本市及び東臼杵圏域の顔となる拠点であることから、多様な都市機能の維持・誘導により、利便性の向上を図る。特に、若者の定住・交流に資する賑わいと魅力の向上を図り、交流拠点としての更なる発展を目指す

日向市中心市街地活性化基本計画

今後は、区域内に図書館等公共公益施設を建設し、来街者を誘導しやすい環境を整えていくことも検討していく必要がある

上位計画(図書館サービス関連)

日向市教育大綱

➢ 図書館等に関連する内容

【基本方針】

2　楽しみ生きがいを感じる生涯学習社会づくり

2-2　図書館サービスの充実

・市民が利用しやすい図書館を目指し、資料や各種サービスの向上を図り、図書館機能の充実に努めます。

日向市子ども読書活動推進計画

➢ 図書館等に関連する内容

子どもの読書活動を支えるには、子どもが日常的に本と出会う場である市立図書館や学校図書館における読書環境の充実が必要です。

そのために、図書等が整備され、子どもがいつでも利用できるような体制づくりに努めます。

上位計画の方向性（まとめ）

	項目	内　容
1	子どもの読書活動を支える教育・学習拠点の強化	● 児童書の蔵書数や貸出数の目標を達成するための蔵書の充実 ● 子どもが本と触れ合える環境づくりやプログラムの実施
2	中心市街地の活性化に寄与する立地と機能	● 中心市街地への図書館複合施設の設置により、地域の賑わいを創出 ● 他の公共施設や商業施設との連携による交流の場の提供
3	生涯学習社会の実現に向けた多機能化	● 幅広い世代や障がいのある人、外国人等、様々な人が利用でき、自分の居場所と感じられる施設としてのサービス拡充 ● 情報提供、就労支援、起業支援や学習支援の機能の強化
4	持続可能な運営を目指した効率性の追求	● 既存の公共施設の見直しや機能統合によるコスト削減 ● ICTの活用や省エネルギー化による効率的な施設運営
5	若者の定住・交流促進、シビックプライドの醸成に資する魅力的な空間づくり	● 快適で現代的な施設デザインや設備の導入 ● カフェやイベントスペースの併設など、利用者ニーズへの対応
6	デジタルによる読書推進	● 電子書籍やデジタル機器による読書の推進

上位計画を踏まえた方向性

- 新たな図書館整備は、**単なる図書の貸出施設としてではなく、地域コミュニティの中心**として、多様なサービスと機能を提供する**総合的な学びと交流の場**として設計されることが求められます。

- 特に、**子どもの読書活動推進や生涯学習支援、**そして**地域の賑わい創出**に資する図書館を目指すことが重要です。

- また、**教育・文化の拠点**としてだけでなく、**中心市街地の活性化**や持続可能なまちづくりにおける重要な役割を担います。

- **市民ニーズを的確に捉えつつ、効率的で魅力的な施設づくり**を進めることが求められます。

(2)基本方針について

第５章　市民ニーズの把握

1　市民アンケート調査

（1）市民アンケート調査

令和7年1月14日（火）～27日（月）の期間、市民を対象に「新しい図書館」に関するアンケート調査を行いました。その結果、395件の回答を得ることができました。

1.　属性

壮年世代の方からの回答が多く、幅広い年齢層で図書館建替えへの関心の高さが伺えます。

2. 日向市図書館本館を利用しない理由

ニーズを反映した選書や充分な座席数の確保の他、行ってみたくなる図書館＋αの機能の検討が必要です。

3. 図書館を利用する目的

本を借りる・読む以外にも、多様な来訪ニーズを満たす機能・サービスの検討が必要です。

4. 現在の図書館本館について

- よいところ・好きなところ、好きな場所・好きな過ごし方

  限られた空間の中で落ち着く空間づくりや立地、親切な職員の対応・サービスの工夫が評価されています。

- 改善したほうがいいところ・改善してほしいサービス

  物理的な狭さに伴うスペースへの不満の声や、蔵書の見つけやすさ、開館時間の延長等に関する声があります。

1　市民アンケート調査

5. 新しい図書館に求める役割

開放的であることが最も重要視され、「居場所」、「子ども」も重要な視点として求められています。

6. 新しい図書館に求めるもの

「ゆっくりと過ごせる」、「気軽に立ち寄れる」を基本に、「仕事や学習」のニーズへの対応の検討も必要です。

7. 新しい図書館に求める機能・サービス

DXへの対応や基盤となるWi-fi環境の充実が必要です。

8. 新しい図書館を含め複合施設全体に求めるもの

生涯学習をベースに、「子育て支援」、「文化芸術」等との連動について検討が必要です。

9. 新しい図書館複合施設の候補地選定で重要なもの

車・公共交通でのアクセス、市全域からのアクセスへ配慮の検討が必要です。

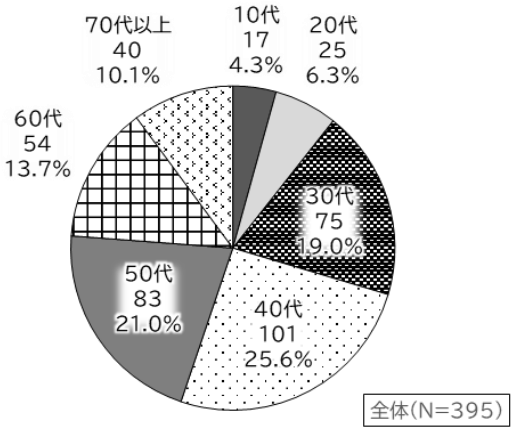
10. 新しい図書館複合施設全体への要望

- イメージ　子ども・若者が立ち寄りやすい／子どもと一緒に過ごせる施設を希望する声が多い
- 空間　目的に応じたゾーニング、開放感／ゆとり／清潔感を求める声が多い状況です。
- スペース　カフェや飲食可能なスペースを希望する声が多い状況です。

＜参考＞市民アンケート調査

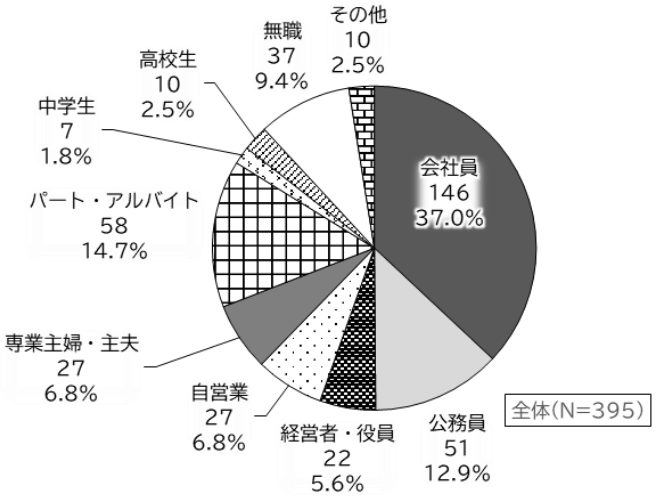
Q1.あなたの年齢を教えてください。

「40代」が25.6%で最も多く、次いで「50代(21.0%)」、「30代(19.0%)」となっています。



Q3.あなたのお仕事は何ですか？

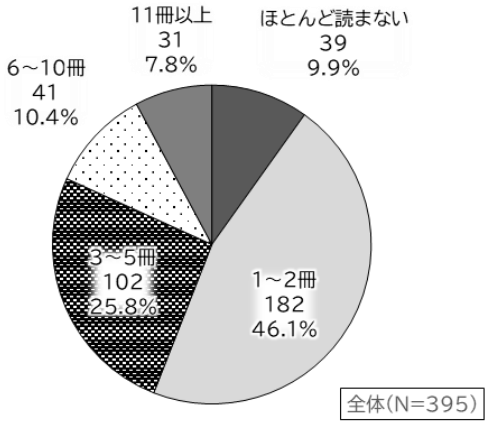
「会社員」が37.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイト(14.7%)」、「公務員(12.9%)」となっています。



＜参考＞市民アンケート調査

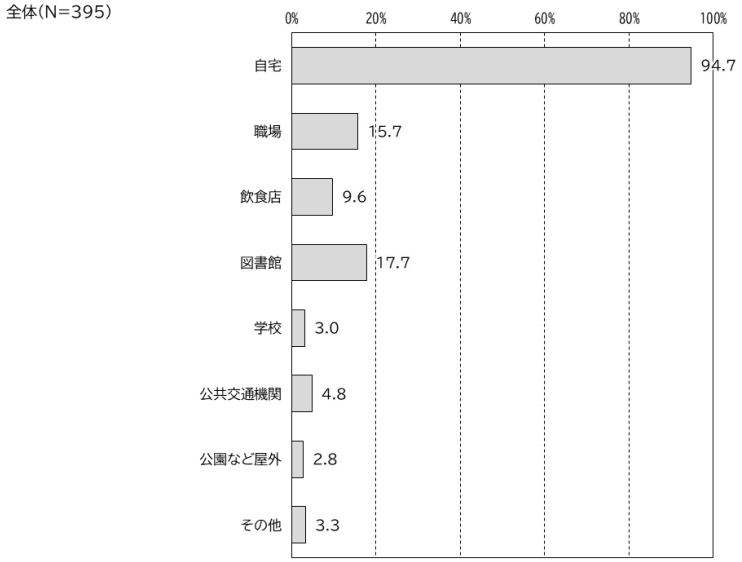
Q4.本や雑誌（電子書籍を含めて）を1か月に平均どれくらい読みますか？

「1～2冊」が46.1%で最も多く、次いで「3～5冊(25.8%)」、「6～10冊(10.4%)」となっています。「ほとんど読まない」は9.9%となっています。



Q5.本や雑誌（電子書籍を含めて）を読む場所は、どこが多いですか？【複数回答可】

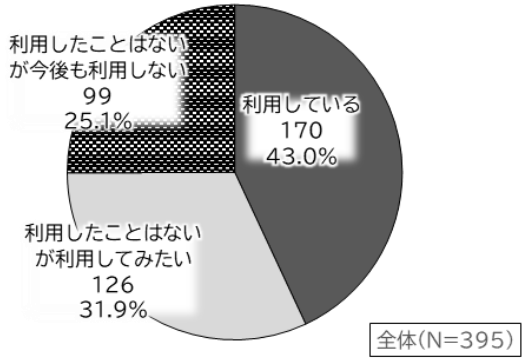
「自宅」が94.7%で最も多く、次いで「図書館(17.7%)」、「職場(15.7%)」となっています。



＜参考＞市民アンケート調査

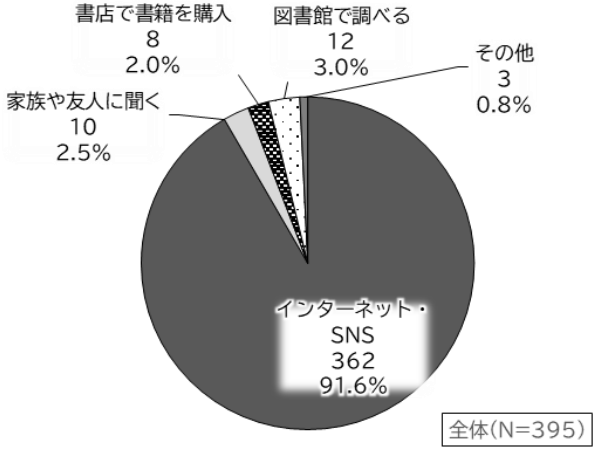
Q6.電子書籍を利用したことがありますか？

「利用している」が43.0%、「利用したことはないが利用してみたい」が31.9%、「利用したことはないが今後も利用しない」が25.1%となっています。



Q7.知りたいことがあるとき、主にどの方法で調べますか？

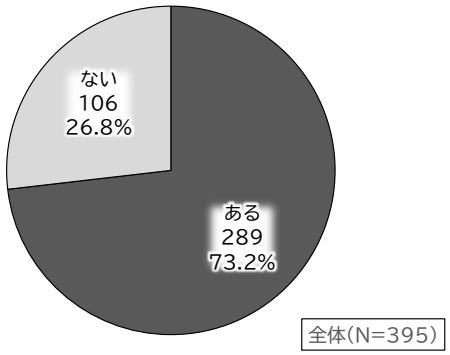
「インターネット・SNS」が91.6%で最も多くなっています。



＜参考＞市民アンケート調査

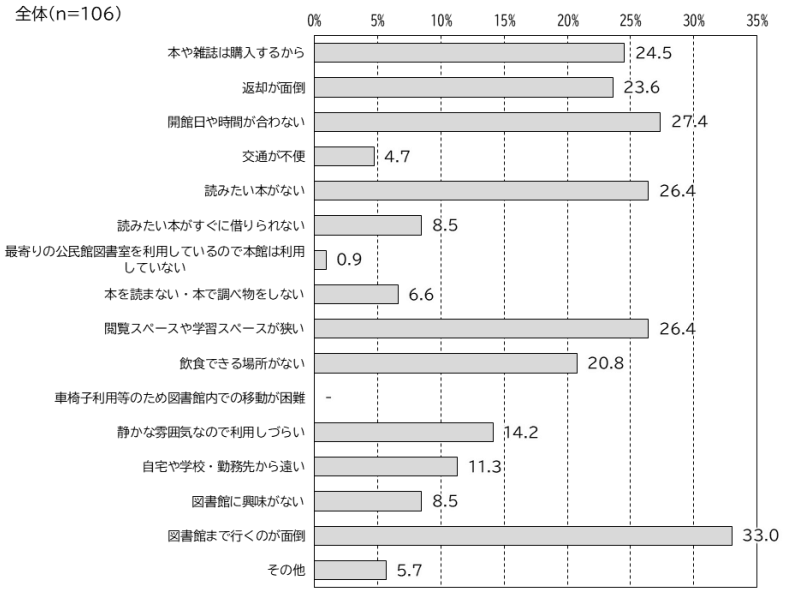
Q8.過去１年間に日向市立図書館本館を利用したことがありますか？

「ある」が73.2%、「ない」が26.8%となっています。



Q9.日向市立図書館本館を利用しない理由は何ですか？【複数回答可】

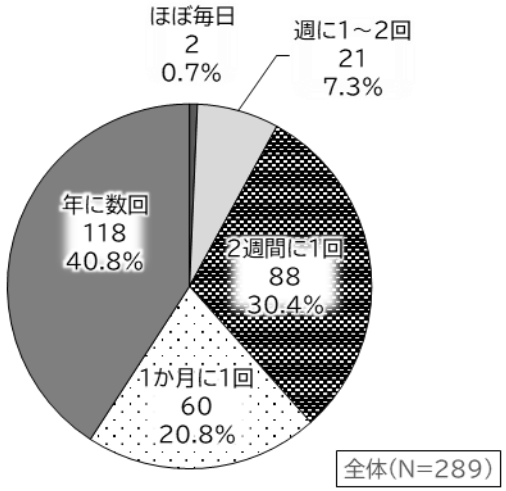
「図書館まで行くのが面倒」が33.0%で最も多く、次いで「開館日や時間が合わない(27.4%)」、「読みたい本がない(26.4%)」、「閲覧スペースや学習スペースが狭い(26.4%)」となっています。



＜参考＞市民アンケート調査

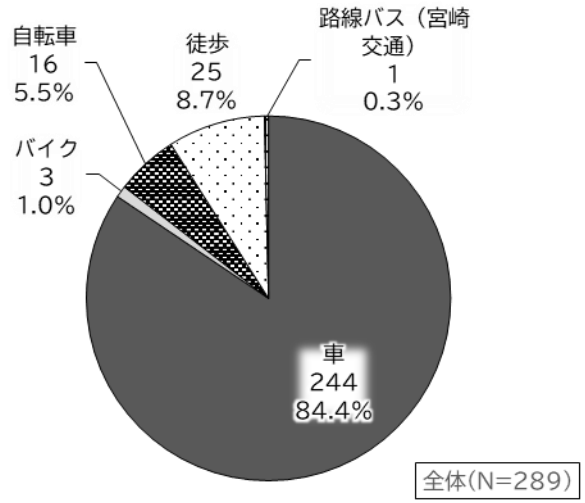
Q10.日向市立図書館本館をどれくらいの頻度で利用しますか？

「年に数回」が40.8%で最も多く、次いで「2週間に1回(30.4%)」、「1か月に1回(20.8%)」となっています。



Q11.あなたが日向市立図書館本館へ行く時の交通手段は何ですか？

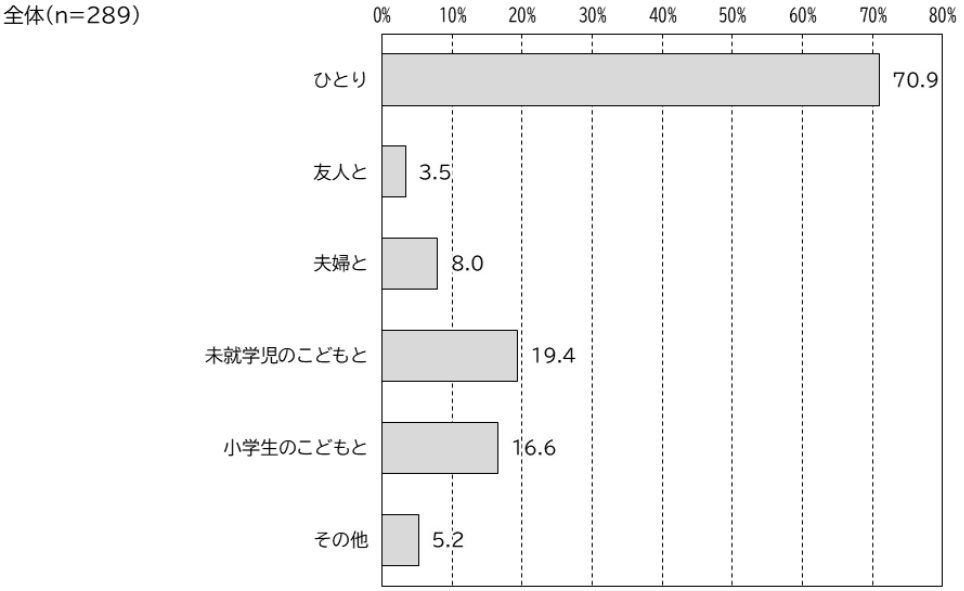
「車」が84.4%で最も多く、次いで「徒歩(8.7%)」、「自転車(5.5%)」となっています。



＜参考＞市民アンケート調査

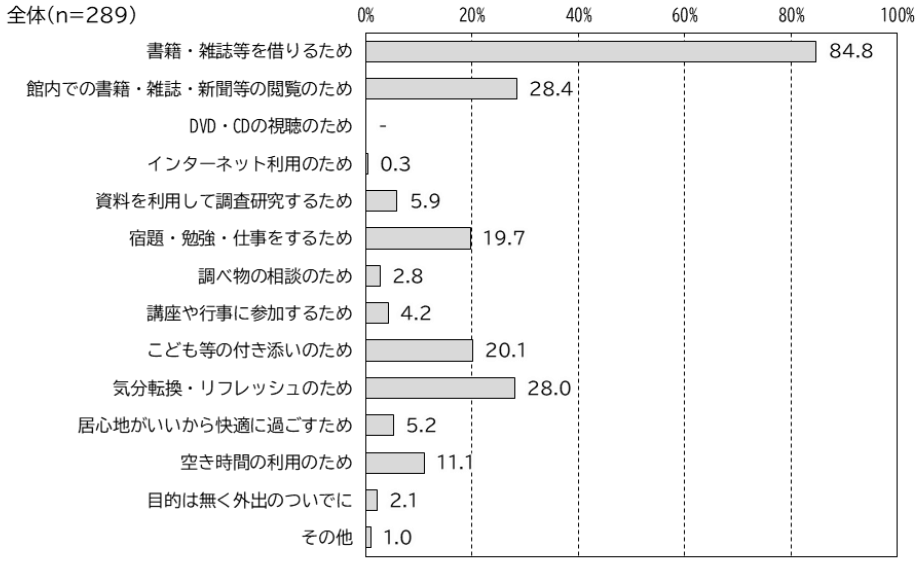
Q12.日向市立図書館本館へ行くときは、誰と行きますか？【複数回答可】

「ひとり」が70.9%で最も多く、次いで「未就学のこどもと(19.4%)」、「小学生のこどもと(16.6%)」となっています。



Q13.図書館を利用する際の目的は何ですか？【主なもの３つまで】

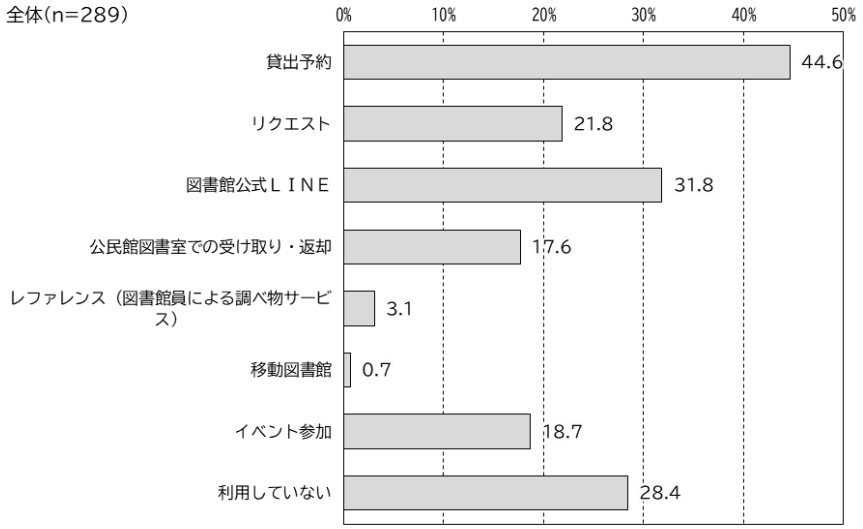
「書籍・雑誌等を借りるため」が84.8%で最も多く、次いで「館内での書籍・雑誌・新聞等の閲覧のため(28.4%)」、「気分転換・リフレッシュのため(28.0%)」となっています。



＜参考＞市民アンケート調査

Q14.次の図書館サービスのうち、利用しているものはありますか？【複数回答可】

「貸出予約」が44.6%で最も多く、次いで「図書館公式ＬＩＮＥ(31.8%)」、「利用していない(28.4%)」となっています



2　市民ワークショップ

✓ 第1回ワークショップ　令和7（2025）年1月25日（土）13:30～16:00
テーマ:「わたしだけの図書館の居場所を考えてみよう」　参加者45名
✓ 第2回ワークショップ　令和7（2025）年２月８日（土）13:30～16:00
テーマ:「どんな機能が複合されると良いか考えてみよう」 参加者40名
「親子」「小中学生」「高校生・大学生」「働く世代」「余暇世代」のグループに分かれ、様々な意見が出ました。

Ⅰ　図書館に求めるニーズ

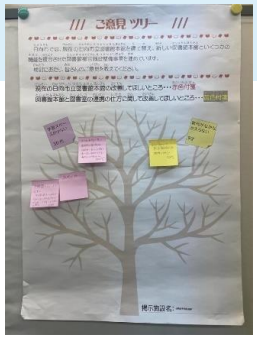
1. 広く快適な施設と開放的な空間の提供
2. 誰もが利用しやすい環境の整備
3. 最新技術の導入とネット環境の充実
4. 地域との連携と文化の発信
5. 防災拠点としての機能強化

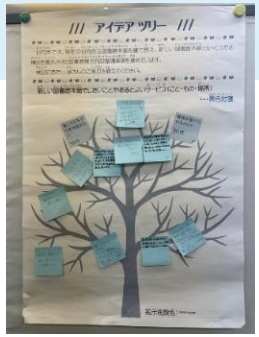
Ⅱ　新しい図書館複合施設に求める機能

1. 子どもと親子向けの施設・サービスの充実
2. 多機能なサービスと交流の場の提供
3. 学習・勉強スペースとデジタル機能の強化
4. リラックスできる環境と利便性の向上
5. 市民参加型の施設と防災機能の強化
6. ユニバーサルデザインの採用

3　ご意見募集(アイデアツリー)

期間：令和7（2025）年1月7日（火）～1月24日（金）
場所：図書館、地区公民館図書室（6カ所）、中央公民館、
　　日向市役所1階市民ホール





Ⅰ　図書館（本館）に関する改善点

- ✓ 本を増やしてほしい（小説、専門書、英語の本など）
- ✓ 新刊ローテーションを早くしてほしい
- ✓ 本が探しやすくしてほしい
- ✓ 通路を広くしてほしい
- ✓ 開館時間の延長
- ✓ 明るく、リラックスできる環境の充実

Ⅱ　新しい図書館に期待するサービス等

- ✓ 読書スペースの充実
- ✓ 学習スペースの充実
- ✓ キッズスペースの充実
- ✓ 子どもの遊びスペース
- ✓ 飲食スペースやカフェの併設
- ✓ 利用者同士の交流の場
- ✓ イベントの開催
- ✓ 居場所づくり

4　関係団体ヒアリング

「新しい図書館に望むこと」をテーマに、市内4つの団体にヒアリングを行いました。
✓ 日向市図書館協議会　図書館ボランティア「友の会」、日向商工会議所、特定非営利活動法人「こども遊センター」

Ⅰ　新図書館に望むこと、サービス等

1. 多機能な複合施設の建設

✓ 乳児から高齢者まで、全ての世代が集い楽しめる施設。
✓ 多目的ホール、軽スポーツができる施設。
✓ 子育て支援機能の充実。子どもの遊び場、親子スペース、子ども預かりサービスなど。
✓ 中高生が利用できる勉強スペース。Wi-Fi環境、ワークスペース
✓ 大人向けのお話会、クッキング、工作、離乳食教室など多様なイベントの開催。
✓ バリアフリー設計、広いトイレ、障がい者施設など、誰もが利用しやすい環境の提供。
✓ 新しい機能の導入（防音シアタールーム、温水プール、「おもちゃ美術館」など）

4　関係団体ヒアリング

「新しい図書館に望むこと」をテーマに、市内4つの団体にヒアリングを行いました。
✓ 日向市図書館協議会　図書館ボランティア「友の会」、日向商工会議所、特定非営利活動法人「こども遊センター」

Ⅰ　新図書館に望むこと、サービス等

2. 環境に配慮した建築・設計

✓ 自然を取り入れた空間づくり：自然光、木のぬくもり、緑を取り入れた空間
✓ 書架と通路の改善：利用者が快適に過ごせる環境。低い書棚と広い通路。
✓ 安全性・防災機能の確保：柵や防犯設備の設置。シェルター化、防災機能。

3. 設備・サービスの向上

✓ カフェや飲食スペースの併設：キッチンカーの導入や日替わりの店舗を招致など。
✓ 静かな部屋の提供：静音室、読書や勉強に集中できる空間の提供
✓ 最新技術の導入：デジタルコンテンツを活用したサービス、電子書籍の導入。

4. 地域交流・文化の発信

✓ 地域との連携・文化の発信：交流・情報交換できる場の提供。郷土文化の展示。
✓ 広報活動の強化：図書館の情報を広報誌やSNS、地域メディアで発信。

4　関係団体ヒアリング

Ⅱ　新図書館に対するその他の意見

1. 老朽化した施設との統合・再編

✓ 既存施設の再編：老朽化が進んでいる中央公民館との統合。効率的な施設運営。

2. 建設場所の検討

✓ 中心市街地への設置：市街地の賑わい創出。
✓ 郊外への設置：広くて安価な土地に整備。新たなまちづくりを進める可能性を探る。

3. 環境に配慮した建築

✓ 木材を活用した建築：日向市駅や市役所と同様に高いデザイン性を持つ建物。
✓ 周辺との一体感のある設計：周辺も一体感の整備を行い、魅力向上を図る。

(2)基本方針について

第６章　新たな図書館に関する基本的な方針

1　図書館サービス等に関すること

1. 子どもの読書活動推進と教育環境の充実

✓ 児童書の充実を図り、子どもが本に親しむ機会を増やします。
✓ 親子でゆったりと過ごせるスペースや、子どもが寝転がって読書できる空間を整備します。
✓ 子ども用トイレ、授乳室、おむつ替えシートなど、子どもや子育て世代が利用しやすい環境を整備します。
✓ 読み聞かせ会や体験型ワークショップ等が開催できるスペースを確保し、イベントの充実を図ります。
✓ 学校図書館との連携を強化し、子どもの学びの支援や読書習慣の定着を図ります。

菊池市図書館：お話の部屋（畳）
キッズスペース（土足禁止）

那珂川市図書館：
こどもトイレ

荒尾市図書館：授乳室

1　図書館サービス等に関すること

2. 多世代のニーズに対応できる多機能なサービスの提供

- ✓ 若者が利用しやすい学習室や交流スペースの充実を図ります。
- ✓ 働く世代が利用しやすいワークスペースの確保やビジネス支援サービスの充実に努めます。
- ✓ 高齢者向けの講座の開催や自主作品の展示など生涯学習活動を支援します。

荒尾市図書館：デジタル図書

菊池市図書館：学習室、多目的コーナー

1　図書館サービス等に関すること

3. 学習施設の機能強化と生涯学習の推進

- ✓ 公立公民館や放送大学宮崎学習センターなど他の生涯学習施設等との連携を強化します。
- ✓ 地域の文化資源を活用した展示やワークショップ等を開催し、地域の活性化を図ります。
- ✓ 市民が自ら学び、成長できる環境の整備に取り組みます。

菊池市図書館：視聴覚コーナー
生涯学習グループ展示

那珂川市図書館：学校図書室との連携

1　図書館サービス等に関すること

4. 情報発信とデジタル化の推進

- ✓ 電子書籍の貸し出しやデジタルコンテンツの提供など、デジタル化に対応したサービスの充実を図ります。
- ✓ LINEなどのSNSや多様な情報ツールを活用し、図書館の情報を発信します。
- ✓ Wi-Fi環境やパソコン、タブレットなど、デジタル機器を快適に利用できる環境を整備します。

菊池市図書館：
しらべものコーナー

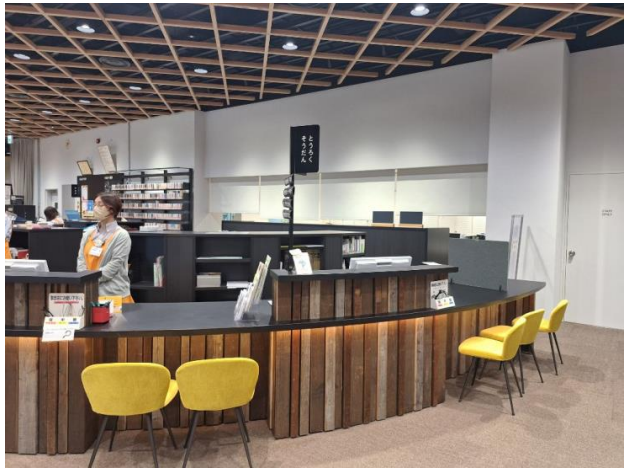
荒尾市図書館：デジタル学習スタジオで学校と連携
動画で図書館ができる過程を記録・閲覧

1　図書館サービス等に関すること

5. 運営方法の検討と職場環境の整備

- ✓ 直営や指定管理者制度の導入など、それぞれの強みを生かした図書館運営のあり方を検討します。
- ✓ 働く世代や学生など、市民のニーズに合わせた適切な開館時間・開館日数の検討を行います。
- ✓ 市民からの相談に迅速・適切に対応できるレファレンスサービスの充実を図ります。
- ✓ 図書館スタッフの労働環境や作業環境に配慮したバックヤードの充実を図ります。

菊池市図書館：総合カウンター



那珂川市図書館：カウンター（相談コーナー）

荒尾市図書館：こどもカウンター

1　図書館サービス等に関すること

6. 人材育成と職員の専門性向上

- ✓ ボランティア活動を促進し、市民との協働による図書館運営に取り組みます。
- ✓ 図書館職員の専門知識やサービス向上のためのスキルを育成します。

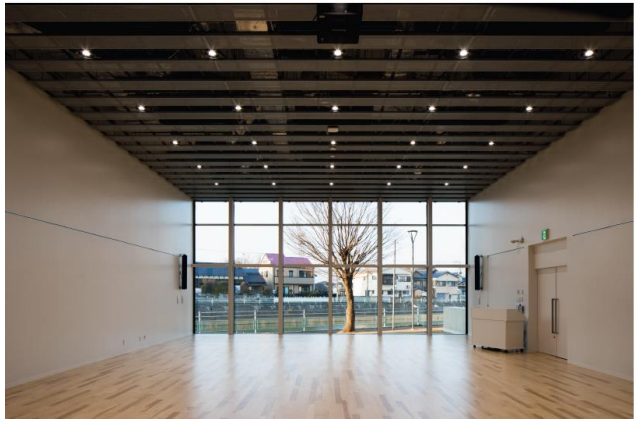
2　図書館施設に関すること

1. 市民が安全・安心に過ごせる「第三の場所（サードプレイス）」

- ✓ 本を読む人も読まない人も、多世代がゆったりと過ごせる快適で居心地の良い「第三の場所（サードプレイス）」づくりを目指します。
- ✓ 地震や津波などの災害対策を講じ、非常時には市民の避難場所としても活用できる施設を整備します。

荒尾市図書館

菊池市図書館



リブリオ行橋：けやきホール

2　図書館施設に関すること

2. 利用者目線の空間設計

- ✓ 利用者の行動傾向を考慮した使いやすいレイアウトや書架を配置するなど動線計画の最適化を目指します。
- ✓ ユニバーサルデザインを採用し、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人など、すべての市民に配慮した施設を整備します。
- ✓ 世代別のニーズに対応した空間づくりや、静かなエリアと話せるエリアの区分などゾーニングの工夫により快適な利用環境を提供します。
- ✓ 読書スペースや学習スペースを充実させ、プライバシーが守られる快適な環境を提供します。
- ✓ 子どもが遊べるスペースや親子でゆったり過ごせる場所を整備します。

荒尾市図書館：多目的トイレ、学びの部屋、静かな部屋

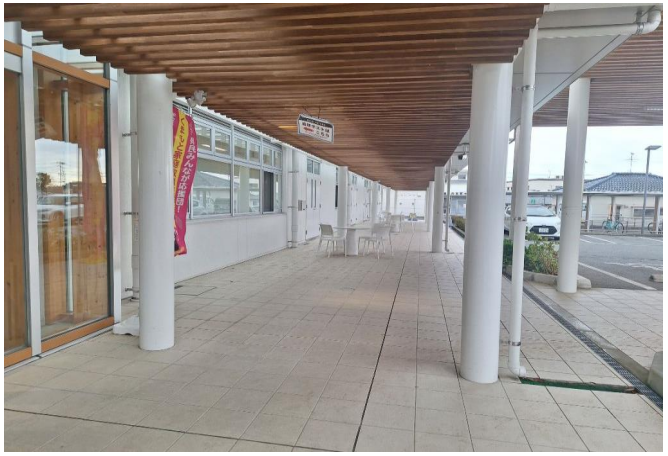
海南ノビノス：絵本ライブラリー

2　図書館施設に関すること

3. 駐車場とアクセスの確保

- ✓ 施設規模に見合った駐車場や駐輪場を確保し、子育て世代や高齢者、障がいのある人などが利用しやすい駐車スペースの整備を行います。
- ✓ 公共交通機関との連携によるアクセス性の向上を図ります。

菊陽町図書館駐輪場



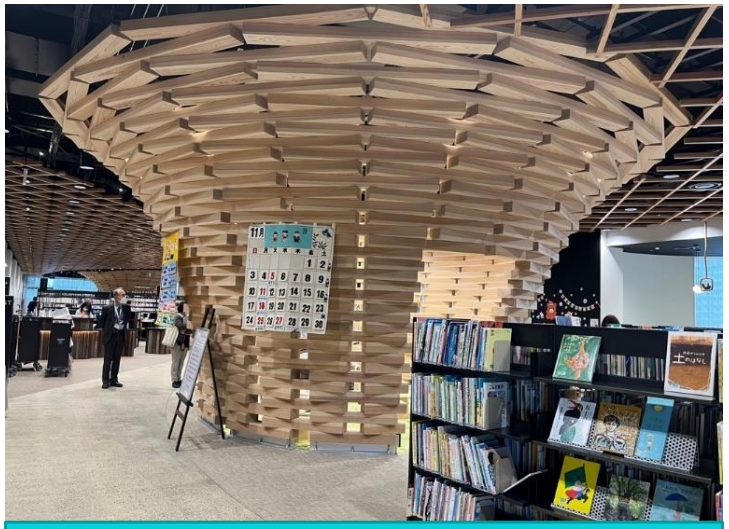
菊池市図書館・駐車場とエントランス

2　図書館施設に関すること

4. メンテナンスとランニングコストの配慮

- ✓ 清掃やメンテナンスが容易で、耐久性の高い素材を使用するなど、長期的な維持管理コストの削減、業務効率化を目指します。
- ✓ 環境に配慮した素材や設備を採用し、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入による環境負荷の低減を目指します。

都城市：吹き抜けのガラス張り天井
（雨漏りで補修）

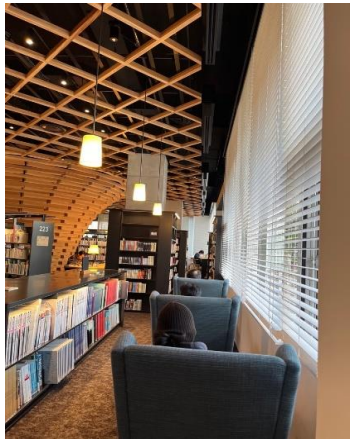


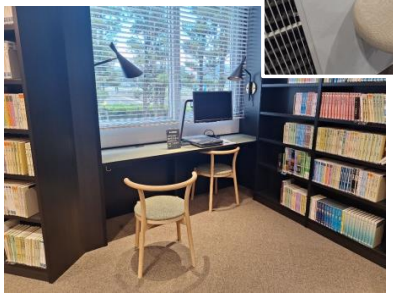
那珂川市：ミリカの木
（メンテナンスが困難）

2　図書館施設に関すること

5. デザインと設計の重視

- ✓ 地域の歴史や文化を踏まえ、地域のランドマークとして市民に親しまれる設計を選定します。
- ✓ 運用面やメンテナンス性、ランニングコストを考慮した素材や設備の選択を行い、デザイン性と機能性の両立を図ります。
- ✓ 椅子や什器など利用者が安全に利用でき、快適にくつろげる空間の整備を目指します。
- ✓ 自然光や緑を取り入れたデザインを採用し、リラックスできる環境を提供します。





那珂川市：いろんな椅子

都城市：児童コーナー

荒尾市：眺めのいい椅子

(2)基本方針について

第7章　図書館複合施設の基本理念と方向性

1　図書館複合視察の先進事例

和歌山県海南市　海南nobinos（ノビノス）

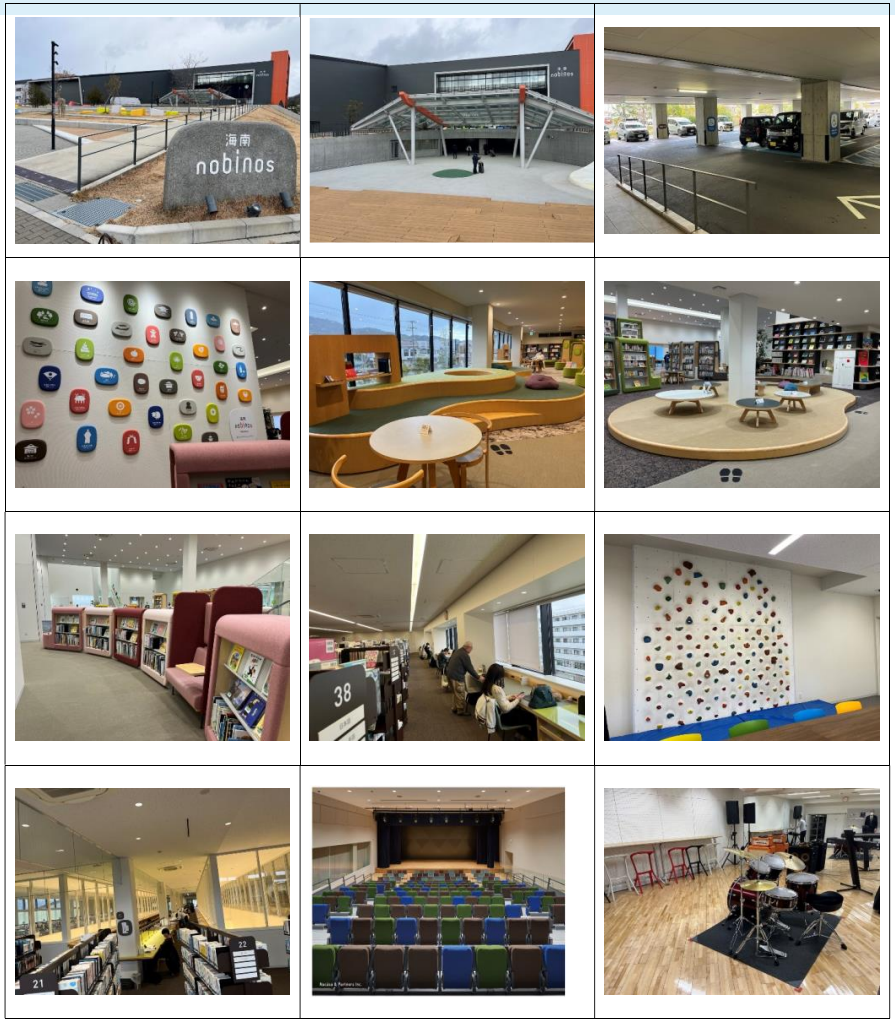
「海南ノビノス」は、図書館機能、市民活動生涯学習活動支援機能・子育て支援機能・カフェ・広場などを有する市民交流施設です。海南の伝統色を用いたデザインが特徴的で、1階は、津波よけのためピロティ形式の駐車場、駐輪場、広場があります。

2階には、カフェ（スターバックスコーヒー）や雑誌コーナーが隣接しているラウンジ、絵本のライブリー、託児室、多目的室があります。ノビノスホール（可動式254席）も設置されており、多目的3は、ホールの控え室兼用として、ボルダリングや卓球ができる部屋となっています。

3階には、子どものライブラリー、多目的室があり、4階にメインライブラリー、学習席、会議室が設置されています。

2階は音を許容するエリアになっており、階層に上がるにしたがって「静」のエリアが配置されています。

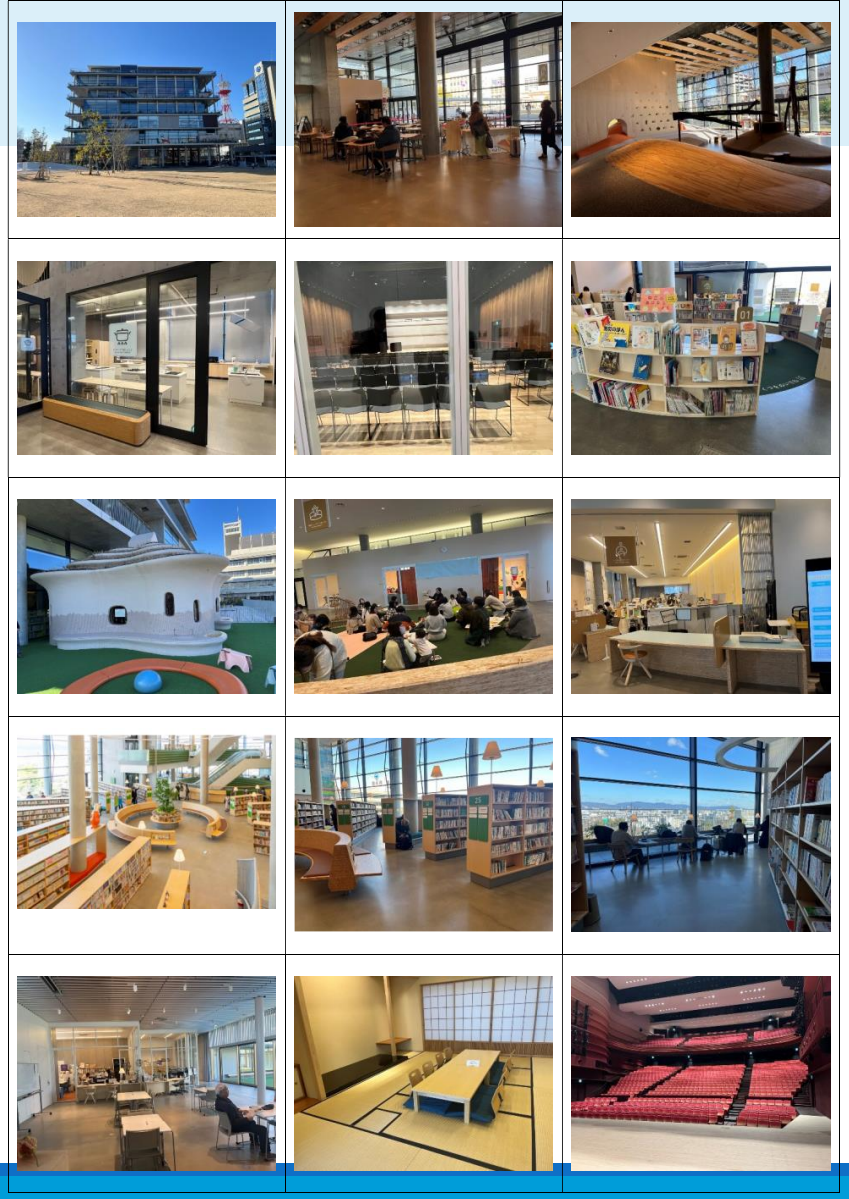
※海南市人口　46,587人（令和6（2024）年10月時点）



1　図書館複合視察の先進事例

大阪府茨木市
文化・子育て複合施設「おにくる」

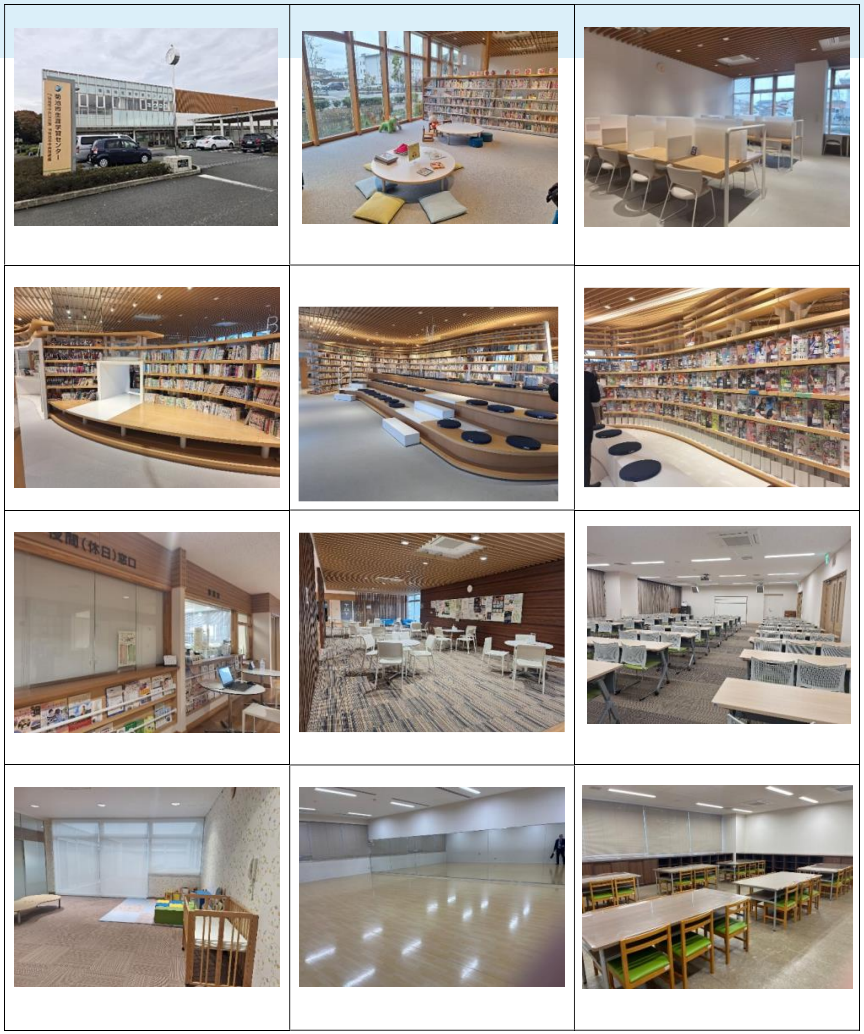
- 「おにくる」は、ホールや図書館・こども支援・屋内こども広場・市民活動センター・プラネタリウムなど、多くの機能で構成されている複合施設。
- 1階には、屋内こども広場「もっくる」、多目的ホール（可動式250席）、クッキングラボ、カフェなどが設置されている。
- 2階には、こども支援センターや健診センター、子育てフリースペースや児童書、おはなしのいえ等が設置されており、多くの親子連れで賑わっている。
- 3階は、リハーサル室や音楽室等のスタジオ。
- 4階5階に大ホール（1200席）を設置
- 5階6階に図書館が配置されている。
- 7階は、市民活動センターやプラネタリウム、会議室等を設置。
- 各階には、関連する図書が置かれており、館内どこでも学習等で自由に座れる席を配置してる。※茨木市人口　286,157人（令和6（2024）年10月時点）



1　図書館複合視察の先進事例

熊本県菊池市　生涯学習センター「KICROSS（キクロス）」

- 「キクロス」は、中央図書館（1階）と中央公民館（2階）を複合した生涯学習センター。
- 図書館には、こども図書室、ティーンズコーナー、一般図書が、学習室、視聴コーナーなどが配置されており、流線系の書架が特徴的です。
- 2階には、中央公民館が配置されており、研修室、調理実習室、工作室、キッズルーム、和室などが設置されています。
※菊池市人口　46,639人（令和6（2024）年10月時点）



2　図書館複合施設の基本理念

（１）図書館複合施設の基本理念

近年 、本市では少子高齢化と若者の流出により、人口減少が加速し、まちの活力が失われつつあります。そのため、第３次日向市総合計画では、まちの将来像を「人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向」と定め、重点戦略として「こどもが故郷に誇りを持てるまち、未来に希望をつなぐまち日向」を掲げ、若者や子育て世代が魅力を感じるまちづくりに取り組むこととしています。

そのため、新しい図書館複合施設は、「知の拠点」である図書館を核として、こどもや子育て世代、若者をターゲットに定め、学びや交流の場や子育てを支える環境づくりを目指します。また、市民の「第三の居場所（サードプレイス）」として、誰もが安心して快適に過ごせる場所を提供します。

以上の背景から、新しい図書館複合施設は、「学びの種をまき、創造の芽を育て、希望の実を結ぶ　市民のサードプレイス」を基本理念とし、すべての世代が集い、成長できる場を提供します

2　図書館複合施設の基本理念

方針１「学びの種をまき」： 人々に学びの機会やきっかけを提供し、知識の基礎を築く

市民一人ひとりの知的好奇心を刺激し、学習意欲に応える多様な学びの機会を提供します。図書館の豊富な蔵書や資料に加え、子育て支援施設や遊び場を備えることで、子どもたちが遊びながら自然に学べる環境を整え、知識の基礎を築き、学びの重要性を広めます。

方針２「創造の芽を育て」： 学びを通じて得た知識をもとに、創造性や新たなアイデアを育む

様々なワークショップや体験型プログラムが開催できる場所を設け、実践的な学びと創造の場を提供することにより、創造性や新たなアイデアを育みます。市民の皆さんが個々に持つ創造性や革新的な思考を促進し、新しい価値の創出を支援します。

方針３「希望の実を結ぶ」： 学びと創造の成果が、個人や地域の未来への希望や発展につながる

学びと創造のプロセスを通じて得られた成果が、個人の成長だけでなく、地域社会全体の発展や未来への希望につながることを目指します。市民の皆さんの交流と協働を促進し、世代や分野を超えたネットワークを築くことで、コミュニティの絆を深め、持続可能なまちづくりを実現し、未来への希望と発展につなげます。

方針４「市民のサードプレイス」： 誰もが安心して快適に過ごせる「第三の居場所」

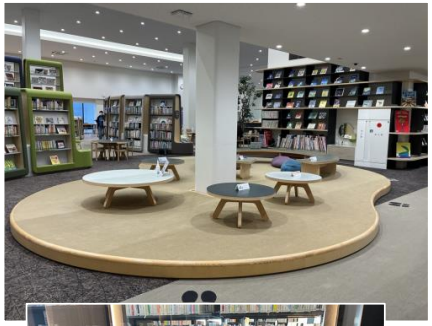
家庭や職場・学校以外の「第三の居場所（サードプレイス）」として、市民が自由に集い、安心して快適に過ごせる場を提供します。世代や背景を問わず、誰もが利用できる開かれた空間として、市民が主役となり、共創により交流や情報交換の拠点を築きます。

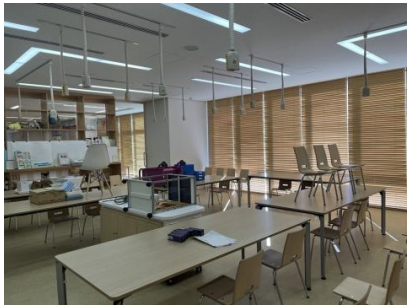
3　複合施設の方向性

基本構想を策定する中で、市民の皆さんの意見も参考にしながら、「基本理念」をもとに、具体的な複合施設の機能や規模について検討します。

1. 図書館に加えることが可能な機能

項番	複合施設や機能の事例（その理由および期待される効果）		同じ機能を持つ市の関連施設等
	施設・機能	理由	
1	多目的ホール	交流拠点の形成、多様なニーズ対応	中央公民館、文化交流センター
2	カフェ、飲食スペース	滞在型施設への転換、くつろぎの空間	
3	コワーキングスペース	働く世代の支援、創造活動支援	
4	ICT 支援、デジタルラボ	デジタルデバイドの解消、先進技術の導入	
5	地域資料・文化財展示室	地域の文化歴史の継承、生涯学習の充実	
6	防災拠点機能	災害時の拠点確保、防災意識の向上	市役所、総合体育館
7	ティーンズコーナー	中高生の利用促進、学習・交流の場	
8	テラス、屋外スペース	憩いの空間創出、賑わい創出	





3　複合施設の方向性

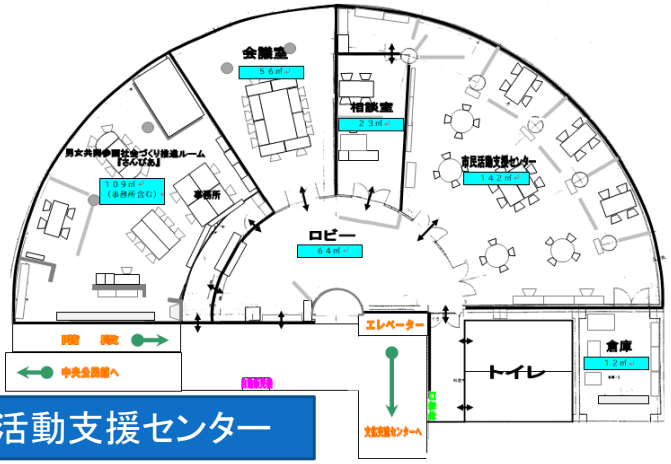
2. 図書館に複合する施設として新たに整備する必要があるもの

番号	複合施設や機能の事例（その理由および期待される効果）		同じ機能を持つ市の関連施設等
	施設・機能	理由	
1	子育て支援センター	子どもの健全な成長支援	子育て支援センター、こども遊センター
2	生涯学習センター	学びの機会の提供、世代間交流の促進	公立公民館
3	健康増進施設	健康寿命の延伸、リフレッシュの場	市民健康管理センター、総合体育館
4	市民活動支援センター	地域コミュニティの強化、市民参画	市民活動支援センター
5	屋内遊戯施設	子育て支援、親子の交流促進、遊び場	
6	クッキングスタジオ	食育の推進、交流の場の提供	地区公民館
7	防音室・音楽練習室	若者の交流の場づくり、居場所づくり	中央公民館

3　複合施設の方向性

3. 同じ機能を持つ市の関連施設

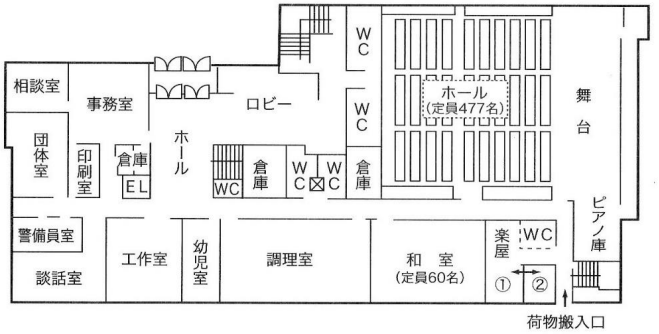
	対象施設	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	日向市中央公民館	1980（S55）	44 年	50 年	
2	日向市民健康管理センター（旧館）	1981（S56）	43 年	50 年	新館は 1992（H４）年建築
3	市民活動支援センター				日向市文化交流センター2 階
4	こども遊センター				日向商工会議所 1 階
5	子育て世代包括支援センター 子ども家庭総合支援拠点				市役所 1 階こども課内



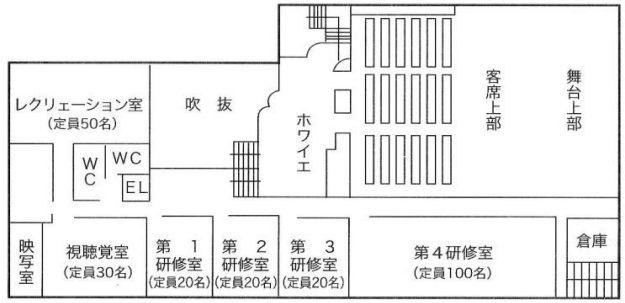
市民活動支援センター

中央公民館平面図

施設平面図　１階

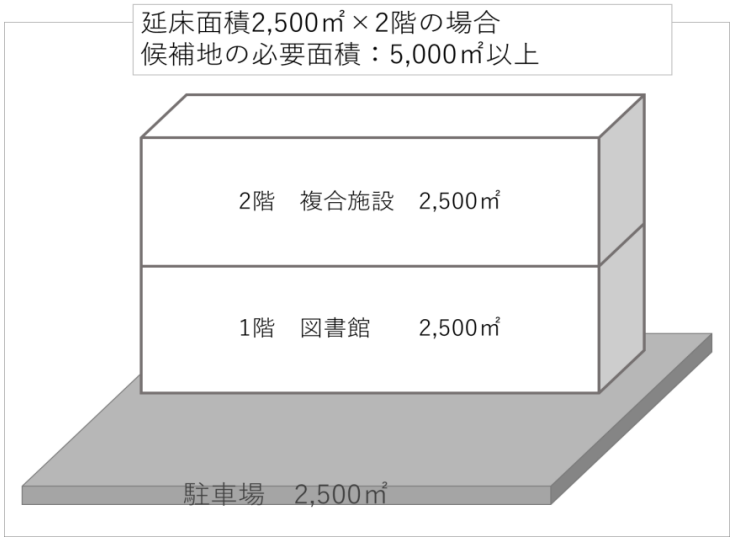


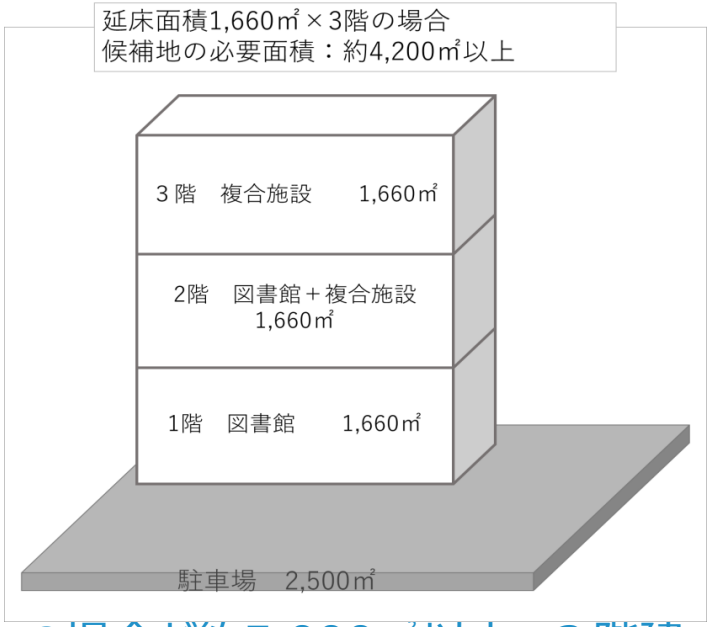
施設平面図　２階



4　複合施設の規模

1　新しい図書館の延床面積は、類似団体の平均値や先進自治体の事例を参考に、2,500㎡以上を基本
2　複合施設部分の延床面積は、2,500㎡以上を基本
3　100台の駐車場を整備する場合は、2,500～2,800㎡程度の駐車場の面積





上記１～３を踏まえると、新たな図書館複合施設は、２階建ての場合が約5,000㎡以上、３階建ての場合が約4,200㎡以上の敷地面積が必要となります。なお、基本構想で具体的な施設機能を決定するため、施設機能に応じて必要な敷地面積も決定することとします。

5　候補地の考え方

◆4「関連計画を踏まえた総合的な方向性」　中心市街地への図書館設置により、地域の賑わいを創出
◆4,200㎡以上の敷地が確保でき、浸水想定も低い場所がないため、近郊への移転整備は難しい
◆市内の高校に自転車通学している生徒が多いこと、電車通学している生徒が多く、「若者の集まる場所」「勉強できる場所」を求める声が多いことから、日向市駅など交通機関の利便性の高い、中心市街地が望ましい。
◆「日向市地域公共交通計画」アンケート調査では、8割近い方が自家用車による移動手段をあげており、自家用車への依存が高い。十分な駐車場を確保することが重要
◆　図書館と複合する具体的な施設機能については、基本構想の中で、市民の意見も踏まえて決定することとなりますが、施設機能によっては、さらに駐車場用地が不足することも想定されるため、近隣施設との共有や新たな土地の購入等も含めて検討を行います。
◆また、浸水想定エリアに整備する場合には、建物の嵩上げ等を含めた対策を講じることとします。

＜候補地の考え方＞
・中心市街地で、4,200㎡以上の土地であること
・駐車場用地が不足する場合は、近隣施設との共有や新たな土地の購入等も含めた検討を行う。

(2)基本方針について

第8章　事業計画に関する考え方

1　事業費・財源の検討

建設費については、複合施設に含める機能や近年の建設需要による工事費の変動など、詳細な分析が必要なことから、建設後のライフサイクルコストを含め、今後の基本構想の策定の中で示すこととし、次のステップである基本計画の策定、基本設計の段階ごとに精査し、必要に応じて計画の見直しを図ることとします。

また、建設には多額の費用を要することから、本市の他事業計画への影響や今後の資金計画についても十分に考慮しながら、健全な財政運営に影響を与えることがないよう、事業規模や事業手法について、検討する必要があります。

財源については、令和８年度から「（仮称）日向市図書館複合施設建設基金」を造成し、ふるさと応援寄附金、企業版ふるさと納税等の制度を活用して財源の確保に努めるとともに、国の交付金や有利な起債の活用などによるコスト縮減を図るとともに、ＰＰＰ／ＰＦＩ等の官民連携手法の検討も行いながら、財政負担の軽減に努めます。

■PPP／PFI等手法の概要

PPP (Public Private Partnership)	PFI (Private Finance Initiative)		● PFI法に基づき、民間資金を用いて設計・施工・維持管理・運営などを一括発注・性能発注する手法 ● 民間事業者が持つ資金、経営ノウハウ、技術的能力を活用して柔軟で効率的な事業を行うことが期待される。
		BTO (Build Transfer Operete)	● 民間事業者が施設を建設し、完成直後に市に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う方式。
		BT+O (Build Transfer)	● 民間事業者が施設を建設し、完成直後に市に所有権を移転する方式。維持管理・運営は別途発注することとなる。
		BOT (Build-Operete-Transfer)	● 民間事業者が施設を建設し、維持管理・運営し、事業終了に市に所有権を移転する事業方式。
	DBO、DB＋O		● PFIに基づかず、設計・施工・維持管理・運営などを一括発注・性能発注する手法。 ● 民間資金は用いないものの、一括発注・性能発注とすることで民間事業者が持つ経営ノウハウ、技術的能力を活用した柔軟で効率的な事業を行うことが期待される。
		DBO (Design Build Operete)	● 民間事業者に設計・施工・維持管理・運営などを一括発注・性能発注する手法。
		DB+O (Design Build)	● 民間事業者に設計・施工を一括発注・性能発注する手法。維持管理・運営などは、別途発注することとなる。

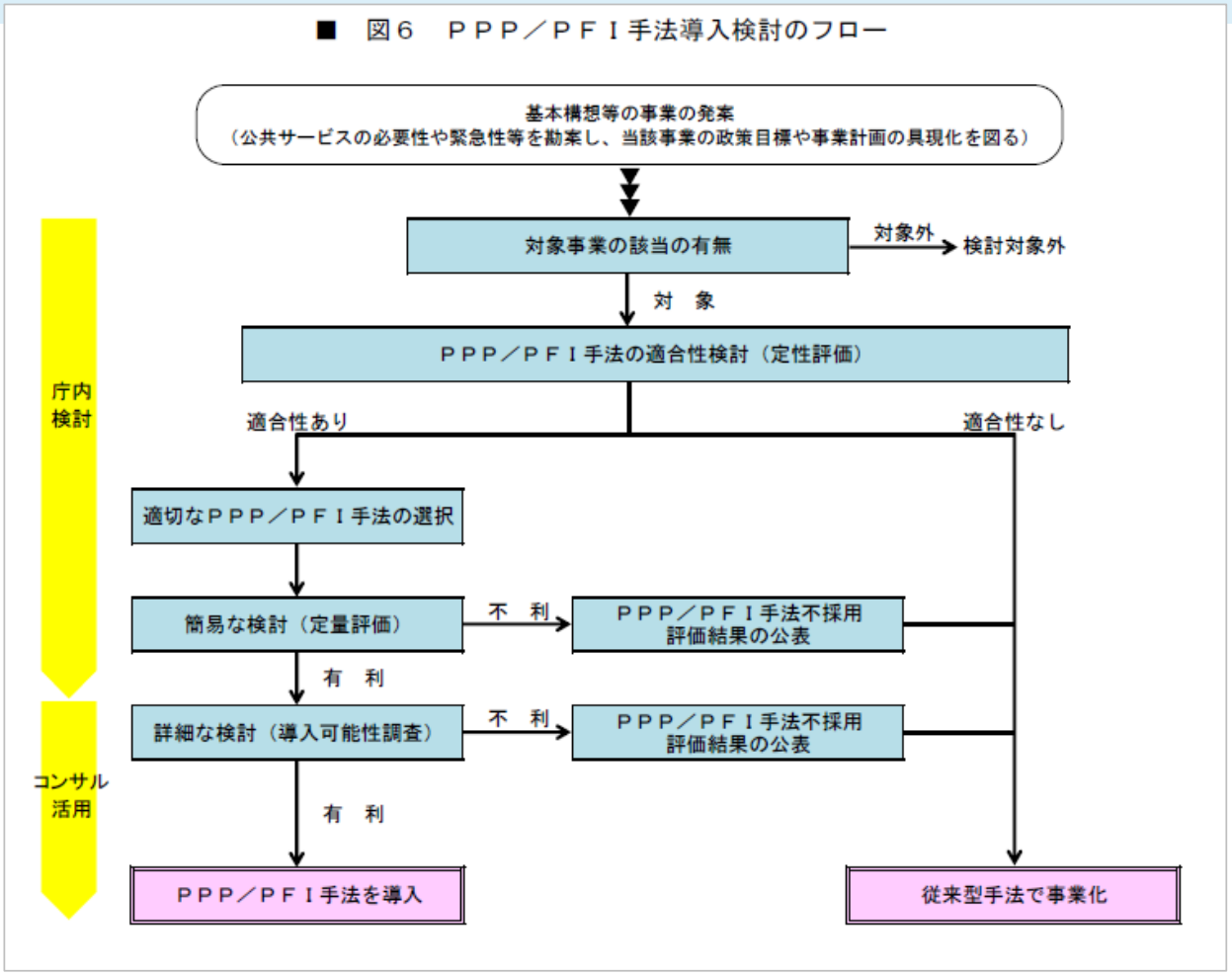
2　事業手法の検討

公共施設整備の事業手法には、従来から行われている「設計・施工・維持管理分離発注方式」のほか近年、公共と民間事業者が適切な役割分担と連携のもとに事業を推進する「PPP／PFI方式」が採用される事例が増えています。

基本コンセプトである市民の日常的な利用を重視した施設整備においては、利用促進に向けた仕掛けづくりや収益性等を考慮した運営等、市民サービスの向上を図るため、民間事業者の創意工夫を十分に活用できるよう検討することが求められます。

このため、事業手法については、「公共施設等におけるPPP／PFI導入ガイドライン」を踏まえた検討を行います。

■　図６　ＰＰＰ／ＰＦＩ手法導入検討のフロー



3　建設までの流れ

図書館複合施設整備までの一般的な流れは、以下のとおりです。

基本構想において、具体的な事業手法を検討することになりますが、従来手法とＰＰＰ／ＰＦＩ手法の一般的な流れは下記のとおりです。

従来手法で進めた場合は、令和12年度末に完成し、現・図書館からの移設作業を行い、令和13年10月の供用開始を目指します。

ＰＰＰ／ＰＦＩ方式で進めた場合は、令和13年度末に完成し、令和14年10月の供用開始を目指します。

●従来手法の場合

基本構想 R7	・課題等を把握・整理し、複合施設に求められる機能、建設場所、規模コンセプト等についての考え方を整理したもの。
基本計画 R8	・基本構想で整理された複合施設の考え方について、具体的な機能、規模・事業手法等を示したもので、その後の設計の要求事項となるもの。
基本設計 R9	・基本計画で示された複合施設の具体的な要求事項について、敷地条件や法令等を考慮して平面・立面・断面等の基本的な図面としてまとめたもの。
実施設計 R10	・基本設計の図面を基に、実際に工事を行うために、材料・寸法・数量・費用・意匠等を、詳細な図面・積算としてまとめたもの。
建設工事 R11~12	・設計を元にして実際の建設工事を行います。本体工事終了後に、外構工事を行います。

供用開始　R13年10月

●PPP／PFI手法の場合

基本構想 R7	・課題等を把握・整理し、複合施設に求められる機能、建設場所、期Ｂ等についての考え方を整理したもの。
PFI導入可能性調査 R8	・PFI手法の導入の可能性を調査するため、諸条件の整理、事業の枠組みの検討、VFM算定、民間事業者の市場調査等を行うもの
基本計画 R9	・基本計画で示された複合施設の具体的な要求事項について、敷地条件や法令等を考慮して平面・立面・断面等の基本的な図面としてまとめたもの。
事業者選定業務 R10	・敷地条件や法令等を考慮して、要求水準書、基本図面等を作成し、事業者の選定を行う。
基本設計 実施設計 R11～12	・民間事業者の知識やノウハウを生かし、基本計画で示された複合施設の具体的な要求事項について、基本設計、実施設計を行う。
建設工事 R12～13	・設計を元にして実際の建設工事を行います。本体工事終了後に、外構工事を行います。

供用開始　R14年10月

4　事業の進め方

　事業を進めるにあたっての基本的な事項は次のとおりです。市民の皆さんとの「共創」による図書館複合施設の整備に取り組みます。

（1）コンセプトとビジョンの明確化

- ✓ 現図書館は老朽化して狭小なゆえに市民の多様なニーズに対応できないため、新たな図書館を整備すること
- ✓ 図書館を核として複合的施設整備により市民の新たな地域拠点をつくること
- ✓ **コンセプトやビジョンを明確にすることで、一貫性を持たせた施設整備**

（2）ターゲットの設定

- ✓ **主なターゲットを子どもや若者、子育て世代**に設定
- ✓ 基本構想において具体的な施設の機能について検討

（3）市民との「共創」と市民ニーズの反映

- ✓ 「市民との協働による共創のまちづくり」
- ✓ 行政だけではなく、市民の皆さんと協働、連携し、互いに知恵や力を出し合い整備します。
- ✓ 計画の策定段階に応じて、市民アンケート調査や市民ワークショップ等を開催
- ✓ **市民の皆さんとの対話を通して、市民ニーズの把握に努める**

（3）検討体制について

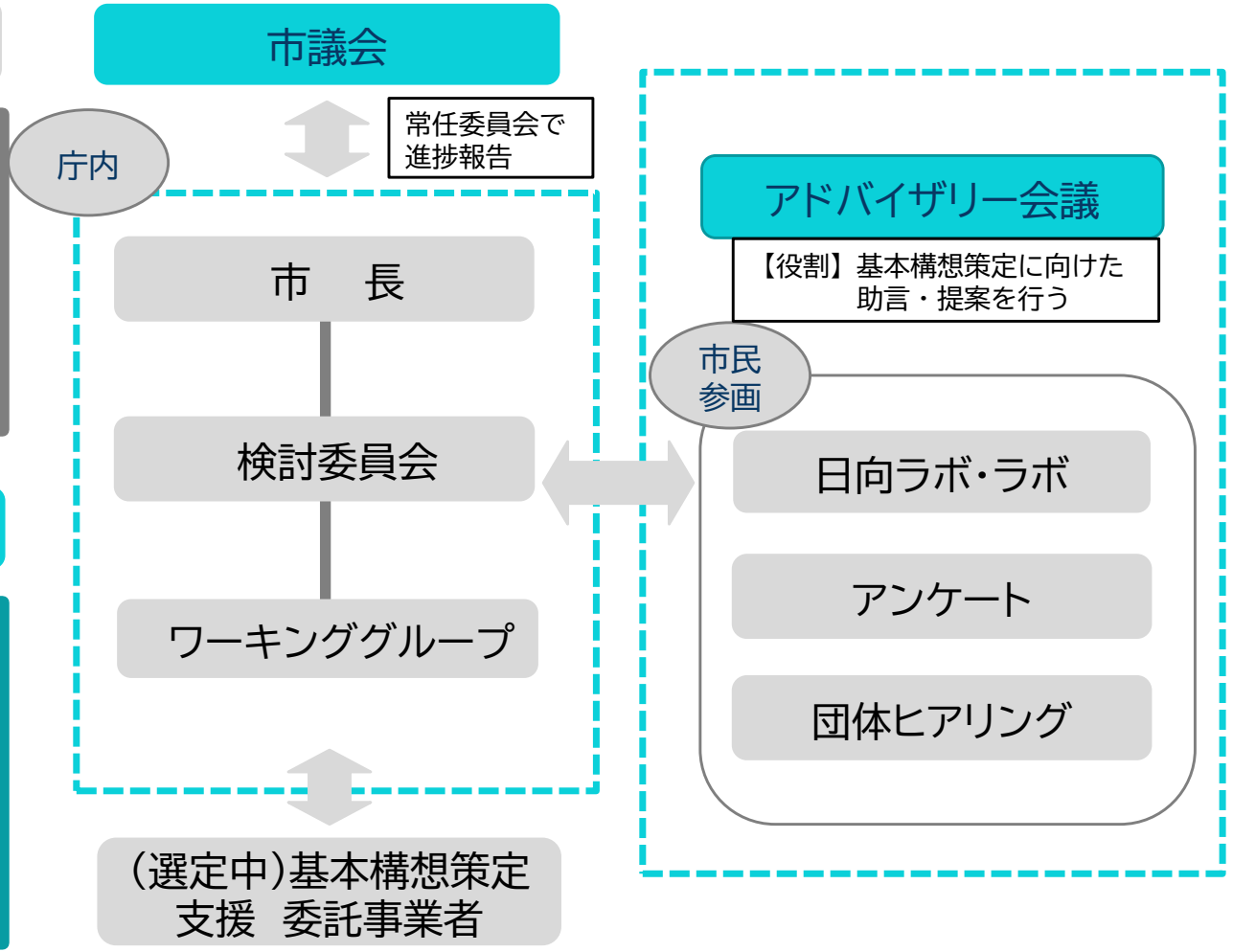
(3)検討体制について

R6 「日向市図書館複合施設基本方針」の策定

- 基本理念「学びの種をまき、創造の芽を育て、希望の実を結ぶ　市民のサードプレイス」を定める。
- 主なターゲットを子どもや若者、子育て世代に設定し、図書館を多世代に渡って市民の誰もが気軽に利用できる施設として整備する。

R7 「日向市図書館複合施設基本構想」の策定

＜基本構想で示したい内容＞
- 新たな図書館の基本方針と具体的な方向性
- 図書館複合施設の機能、配置モデル
- 事業手法の検討（事業方式、概算事業費、簡易VFM算出）
- 今後の進め方



(3)ワーキンググループ体制

ワーキンググループ
（事務局：総合政策課）

図書館・生涯学習チーム

図書館、文化・生涯学習課、教育総務課
行政改革・デジタル推進課、総合政策課

- ✓ 新しい図書館の基本方針の具体化
- ✓ 新しい図書館の機能・規模の検討
- ✓ 読書活動推進に向けた市民意識の醸成など

子育て支援チーム

こども課、図書館、市街地整備課、
総合政策課

- ✓ 子育て支援機能・規模の検討
- ✓ 「こども遊センター」の移転
- ✓ 屋内遊戯場の検討など

複合施設チーム

資産経営課、文化・生涯学習課、地域コミュニティ課
教育総務課、市街地整備課、総合政策課

- ✓ 複合施設に関する施設機能の検討
- ✓ 複合化に伴う施設の移転・統合・廃止の検討
- ✓ 若者が集まる新たな機能の検討

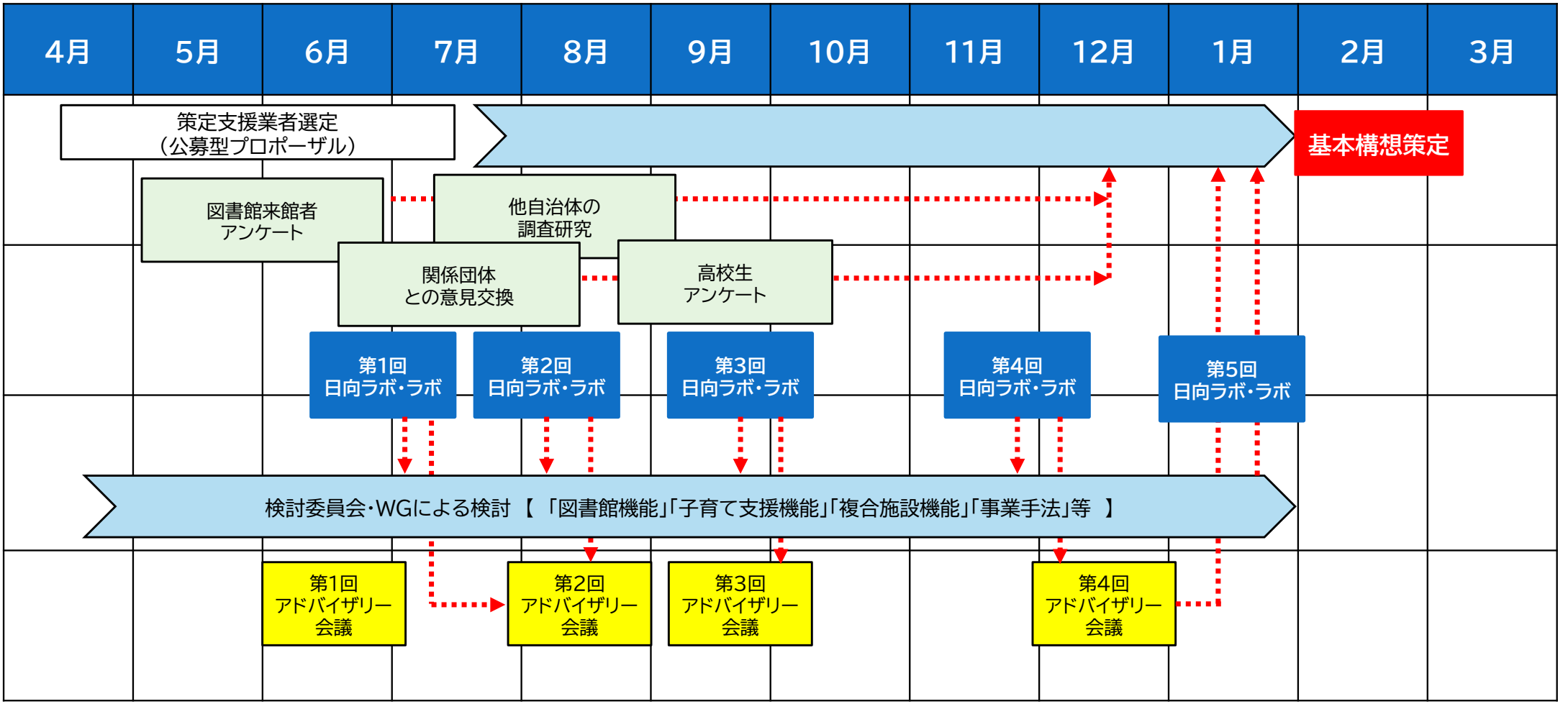
事業手法検討チーム

資産経営課、図書館、財政課
行政改革・デジタル推進課、総合政策課

- ✓ 概算事業費の算定、財源の検討・確保
- ✓ 新たな施設の運営方針の検討
- ✓ 事業手法の検討（VFM算定、サウンディング等）

(4)令和7年度の取組内容について

(4)令和7年度の取組内容について



（5）図書館複合施設整備プロジェクト「日向ラボ・ラボ」について

(5)日向ラボ・ラボについて

「日向ラボ・ラボ」の取り組み

「日向ラボ・ラボ」は、対話の手法であるリビングラボと、実証実験をあらわすラボラトリーを組み合わせた名前で、令和7年度をリビングラボの実証実験の年として取り組みます。
令和6年度に実施したアンケート調査やワークショップで出た意見を踏まえて、図書館に期待する施設や機能について実証実験を行います。

第１回
R7.7.5(土)
13:30～16:00

テーマ:
あなたの居場所を考えよう。
みんなで創る新しい図書館

目的:
複合施設として期待する子育て支援機能について考える。

内容:
・図書館の使い方に関する講演会
・サードプレイスに必要なことについて意見交換

第２回
R7.8.8(金)～10(日)
10:00～16:00

テーマ:
学びのタネを育てよう。
みんなで育む未来のこども

目的:
複合施設として期待する子育て支援機能について考える。

内容:
・屋内型の遊び場
・移動図書館「ひだまり図書館」
・キッチンカー

第３回
R7.9.27(土)
（時間未定）

テーマ:
創造の芽を育てよう。
新しい「学び」の発見

目的:
実践的な学びと創造の場を提供し、新しい「学び」について考える。

内容:
・VR体験や動画作成、プログラミングといった多様なワークショップ、体験型プログラム

第４回
R7.11.29(土)
（時間未定）

テーマ:
希望の実を結ぶ。
新しい施設を創ろう

目的:
新しい図書館複合施設に欲しい機能について考える。

内容:
・青少年の居場所に関する講演会
・第1回～第3回の内容振り返り
・新しい図書館複合施設のゾーニング作成

第5回
R8.1月(予定)

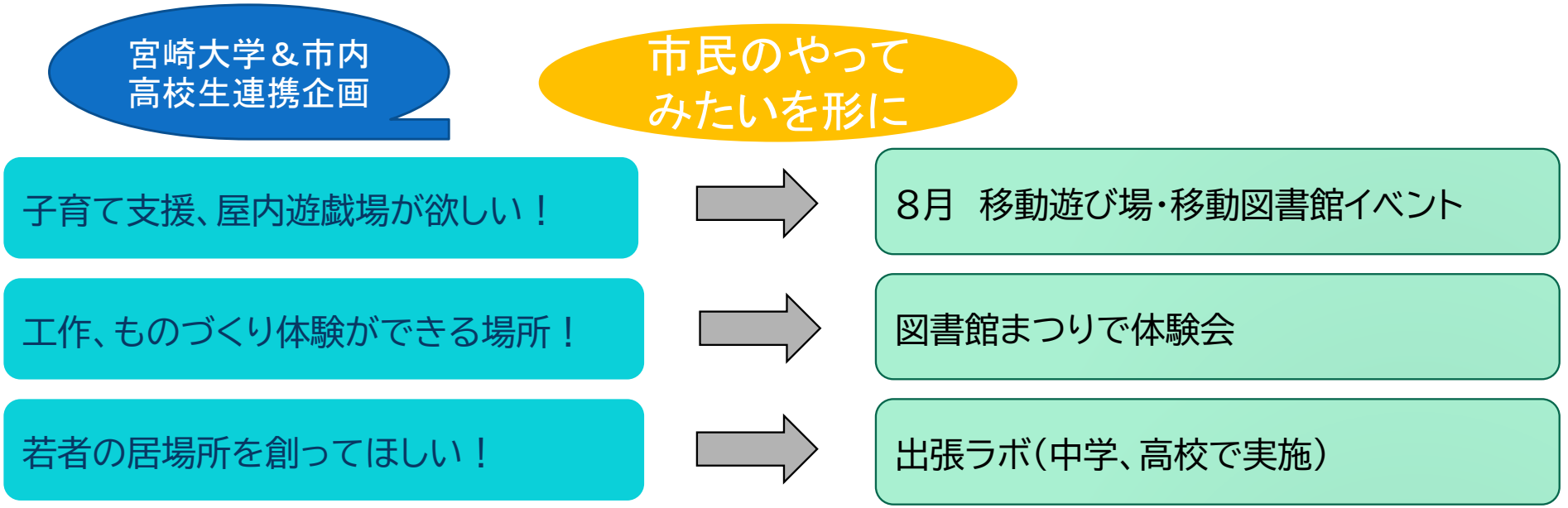
テーマ:
新しい施設ができるまちってどんなまち？

目的:
新しい図書館複合施設とまちづくりの連携、回遊性の方法を考える。

内容:
・まちづくりに関する講演会
・新しい施設が建ったあとの「日向市の未来予想図マップ」作成

(1)市民との共創の実践　「日向ラボ・ラボ」

- ✓「日向ラボ・ラボ」とは、対話の手法であるリビングラボ(Living Lab)の「ラボ」と実験・実証実験をあらわすラボラトリー(laboratory)の「ラボ」を組み合わせた名称で、令和7年度をリビングラボの実証実験の年と位置づけて取り組みます。
- ✓ 具体的な取組は、令和6年度のアンケート調査やワークショップから出された意見を基に「私の図書館」や「新しい図書館に期待する施設・機能」について、実証実験を行います。



(2)日向ラボ・ラボの開催内容

第1回　テーマ「あなたの居場所を考えよう。みんなで創る新しい図書館。」

■日時:令和7年7月5日(土)13:30～16:00

■会場:日向市役所4階委員会室　※参加自由

(1)講演会

講　師:吉田右子(ゆうこ)さん

（国立大学法人 筑波大学 大学院図書館情報メディア研究科 教授）

演　題:「あなたの居場所を考えよう。みんなで創る新しい図書館。」

著　書:「デンマークの賑やかな図書館」ほか

(2)意見交換会

進　行:中川敬文(けいぶん)さん（株式会社イツノマ 代表取締役）

テーマ:「図書館が市民のサードプレイスとなるために必要なことは」

(2)日向ラボ・ラボの開催内容

検討中

第2回　テーマ「学びのタネを育てよう。みんなで育む未来のこども(仮称)」

■日時:8月8日(金)～10日(日)　10:00～16:00(予定)
■場所:文化交流センター(アリーナほか)
■内容:「移動遊び場・ひだまり図書館がやってきた」

- ✓ R6年度ワークショップで「子育て支援施設」「屋内の遊び場」「カフェ」などの要望が多かったことから、ボーネルンド社の「移動遊び場」、移動図書館「ひだまり号」、キッチンカーなどを出店し、実証実験を行います。
- ✓ 参加者へのアンケートやインタビューを通して、本や遊びを通した「こどもの学び」を考え、複合施設として期待する子育て支援機能などについて考えます。

(2)日向ラボ・ラボの開催内容

検討中

第3回　テーマ「創造の芽を育てよう。新しい「学び」の発見(仮称)」

■日時:9月27日(土)　※時間未定
■場所:市役所1階　市民ホール
■内容:R6年度WSで「多様なワークショップ」や「体験学習」などの要望が多かったことから様々なワークショップや体験型プログラムが開催できる機会を設け、実践的な学びと創造の場を提供し、新しい「学び」について考えてみる。
例)VR体験、動画・アニメ・漫画作成、プログラミングなど

第4回　テーマ「希望の実を結ぶ。新しい施設を創ろう(仮称)」

■日時:11月29日(土)　※時間未定
■場所:市役所1階　市民ホール
■内容:アドバイザー　青山鉄兵さんによる講演会＆意見交換会

※第1回～第3回までの意見を参考に、新しい図書館複合施設に欲しい機能を考え、イメージ図(ゾーニング)を作成する。

(例)小松市

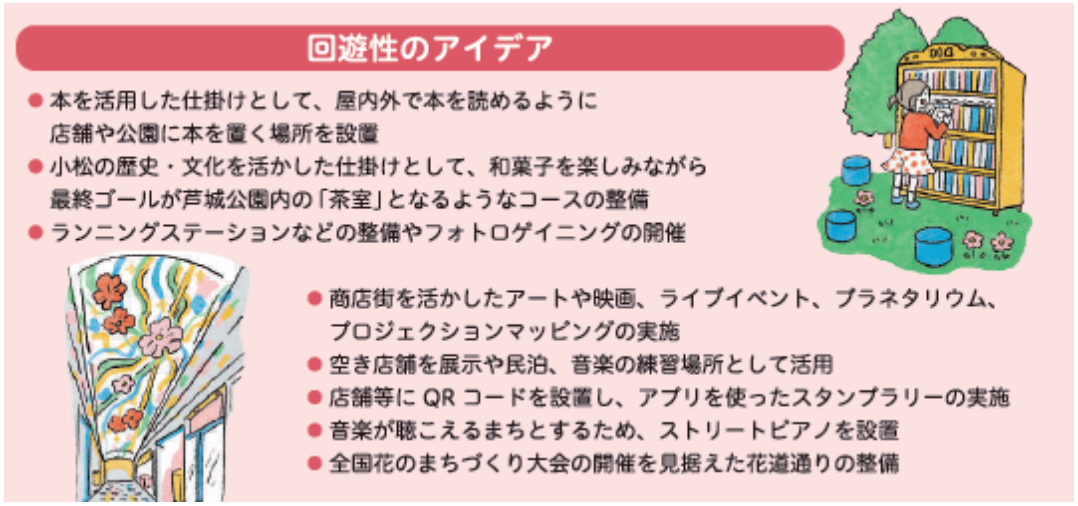
(2)日向ラボ・ラボの開催内容

検討中

第5回　テーマ「新しい施設ができるまちって、どんなまち？(仮称)」

■日時:1月●日　調整中
■場所:候補地周辺(未定)
■内容:アドバイザー　桑野　斉さんをお迎えし、新しい図書館複合施設の整備候補地と周辺を歩き、周辺の施設との連携や、回遊性の方法を考える。また、新しい施設が建ったあとの「日向市の未来予想図(マップ)」を作成します。

(例)小松市



(3)市民参画　その他の取り組み

検討中

- ✓高校生アンケート調査
- ✓関係団体との意見交換
  - ✓子育て、障がい者、文化・生涯学習など
- ✓図書館来館者アンケート（5月～6月）